



## Cisco Intercloud Fabric ユーザガイド リリース 2.2.1

初版：2015年04月19日

### シスコシステムズ合同会社

〒107-6227 東京都港区赤坂9-7-1 ミッドタウン・タワー

<http://www.cisco.com/jp>

お問い合わせ先：シスコ コンタクトセンター

0120-092-255（フリーコール、携帯・PHS含む）

電話受付時間：平日 10:00～12:00、13:00～17:00

<http://www.cisco.com/jp/go/contactcenter/>

**【注意】** シスコ製品をご使用になる前に、安全上の注意（[www.cisco.com/jp/go/safety\\_warning/](http://www.cisco.com/jp/go/safety_warning/)）をご確認ください。本書は、米国シスコ発行ドキュメントの参考和訳です。リンク情報につきましては、日本語版掲載時点で、英語版にアップデートがあり、リンク先のページが移動/変更されている場合がありますことをご了承ください。あくまでも参考和訳となりますので、正式な内容については米国サイトのドキュメントを参照ください。また、契約等の記述については、弊社販売パートナー、または、弊社担当者にご確認ください。

このマニュアルに記載されている仕様および製品に関する情報は、予告なしに変更されることがあります。このマニュアルに記載されている表現、情報、および推奨事項は、すべて正確であると考えていますが、明示的であれ黙示的であれ、一切の保証の責任を負わないものとします。このマニュアルに記載されている製品の使用は、すべてユーザ側の責任になります。

対象製品のソフトウェア ライセンスおよび限定保証は、製品に添付された『Information Packet』に記載されています。添付されていない場合には、代理店にご連絡ください。

The Cisco implementation of TCP header compression is an adaptation of a program developed by the University of California, Berkeley (UCB) as part of UCB's public domain version of the UNIX operating system. All rights reserved. Copyright © 1981, Regents of the University of California.

ここに記載されている他のいかなる保証にもよらず、各社のすべてのマニュアルおよびソフトウェアは、障害も含めて「現状のまま」として提供されます。シスコおよびこれら各社は、商品性の保証、特定目的への準拠の保証、および権利を侵害しないことに関する保証、あるいは取引過程、使用、取引慣行によって発生する保証をはじめとする、明示されたまたは黙示された一切の保証の責任を負わないものとします。

いかなる場合においても、シスコおよびその供給者は、このマニュアルの使用または使用できないことによって発生する利益の損失やデータの損傷をはじめとする、間接的、派生的、偶発的、あるいは特殊な損害について、あらゆる可能性がシスコまたはその供給者に知らされていても、それらに対する責任を一切負わないものとします。

このマニュアルで使用している IP アドレスおよび電話番号は、実際のアドレスおよび電話番号を示すものではありません。マニュアル内の例、コマンド出力、ネットワーク トポロジ図、およびその他の図は、説明のみを目的として使用されています。説明の中に実際のアドレスおよび電話番号が使用されていたとしても、それは意図的なものではなく、偶然の一致によるものです。

Cisco and the Cisco logo are trademarks or registered trademarks of Cisco and/or its affiliates in the U.S. and other countries. To view a list of Cisco trademarks, go to this URL: <http://www.cisco.com/go/trademarks>. Third-party trademarks mentioned are the property of their respective owners. The use of the word partner does not imply a partnership relationship between Cisco and any other company. (1110R)

© 2015 Cisco Systems, Inc. All rights reserved.



## 目次

### はじめに vii

対象読者 vii

表記法 vii

Cisco Intercloud Fabric の関連資料 ix

マニュアルに関するフィードバック x

マニュアルの入手方法およびテクニカル サポート x

### 概要 1

Cisco Intercloud Fabricについて 1

### ユーザとグループの管理 3

この章の対象読者 3

ユーザ タイプの管理 3

ユーザ タイプ 4

デフォルトのユーザ権限 4

グループ管理者 4

サービス エンド ユーザ 6

ユーザ ロールおよび権限 8

グループの管理 10

グループの作成 10

パスワード ポリシー 12

パスワード ポリシーの作成 12

管理プロファイルの設定 13

管理者プロファイルの作成 13

管理者パスワードの変更 14

ユーザグループへのユーザの追加 14

現在のオンライン ユーザの表示 16

ユーザ アクセス プロファイルの管理 16

マルチロール アクセス プロファイル	16
ユーザ アクセス プロファイルの作成	17
ユーザ アクセス プロファイルの編集	18
ユーザ アクセス プロファイルの削除	20
プロファイルへのログイン	20
プロファイルの削除	20
デフォルト プロファイルの変更	21
認証および LDAP 統合	21
認証の環境設定	22
LDAP 統合	22
LDAP 統合の規則と制限事項	23
LDAP 統合の管理	24
シングル サインオン	25
シングル サインオンの有効化	26
グループおよび顧客組織のブランディング	26
ログイン ページのブランディング	27
カスタム ドメイン ロゴの設定	28
ポリシーの管理	29
この章の対象読者	29
ポリシー	29
Intercloud ポリシーの管理	30
ネットワーク ポリシー	30
Intercloud Fabric ネットワーク ポリシーの作成	30
スタティック IP プール ポリシーの作成	31
VMware ネットワーク ポリシーの作成	33
システム ポリシー	34
Intercloud Fabric システム ポリシーの作成	34
VMware コンピューティング ポリシーの作成	35
仮想データセンターの管理	37
この章の対象読者	37
仮想データセンターの管理について	37
エンタープライズ仮想データセンターの管理	38

プライベート仮想データセンターの作成	38
仮想データセンターの表示	40
仮想データセンターの編集	40
仮想データセンターの削除	43
仮想データセンターの複製	44
仮想データセンターのアプリケーション カテゴリの管理	46
プライベートクラウドへの仮想マシンの移行	47
Intercloud 仮想データセンターの管理	48
Intercloud Fabric 仮想データセンターの作成	48
Intercloud Fabric Cloud への仮想マシンの移行	52
<b>カタログの管理</b>	<b>55</b>
この章の対象読者	55
カタログ管理について	55
テンプレートへのカタログの追加	55
カタログの表示	57
カタログの編集	58
カタログの削除	60
カタログの複製	60
<b>サービス リクエストの管理</b>	<b>65</b>
この章の対象読者	65
サービス リクエストについて	65
サービス要求の作成	66
サービス リクエストを使用した仮想マシンのプロビジョニング	68
サービス リクエスト ワークフローと詳細	69
サービス リクエスト ワークフロー	69
サービス リクエスト詳細	70
サービス リクエストのワークフロー ステータスの表示	71
サービス リクエストのログ詳細の表示	71
その他のサービス リクエスト機能	72
サービス リクエストのキャンセル	72
特定グループのサービス リクエストの表示	72
グループのサービス リクエスト履歴のエクスポート	73

サービス リクエストの承認プロセス	73
サービス リクエストの承認	74
サービス リクエストの拒否	74
サービス リクエスト承認の履歴の表示	75
サービス リクエストの承認履歴の検索	75
サービス リクエスト承認の履歴のエクスポート	75
<b>システムのモニタリングとレポート作成</b>	<b>77</b>
この章の対象読者	77
ダッシュボード	77
ダッシュボードの有効化	77
レポート ウィジェットの追加	78
ウィジェットデータの更新	78
レポート	78
レポートへのアクセス	79
エンドユーザ レポートの表示	79
仮想リソースの詳細の表示	81
仮想データセンターの詳細情報の表示	81
管理者レポート	83
エンドユーザ レポート	84
<b>ライフサイクルの管理</b>	<b>87</b>
この章の対象読者	87
仮想マシンの電源設定の管理	87
<b>その他の情報</b>	<b>89</b>
Cisco Intercloud Fabric の関連資料	89
マニュアルの入手方法およびテクニカル サポート	90
マニュアルに関するフィードバック	91



## はじめに

---

ここでは、次の項について説明します。

- [対象読者](#), [vii ページ](#)
- [表記法](#), [vii ページ](#)
- [Cisco Intercloud Fabric の関連資料](#), [ix ページ](#)
- [マニュアルに関するフィードバック](#), [x ページ](#)
- [マニュアルの入手方法およびテクニカル サポート](#), [x ページ](#)

## 対象読者

本書は、Cisco ソフトウェア、Cisco ソフトウェア アプライアンス、および仮想化インフラストラクチャの設定と保守を担当する、データセンターおよびクラウドの管理者を対象としています。

このマニュアルは、次のような経験と知識を持つネットワーク管理者とサーバ管理者を対象としています。

- 仮想化の知識。
- Virtual Machine Manager (VMM) ソフトウェアを使用した仮想マシンの作成。
- Cisco Nexus 1000V、VMware vSwitch などの仮想スイッチの設定。
- サポートされているプロバイダー (Amazon Web Services (AWS)、Microsoft Azure、Cisco Intercloud Services – V、シスコクラウドサービス、シスコクラウドサービス など) のパブリッククラウドプロバイダーとしての使用についての知識。

## 表記法

コマンドの説明には、次のような表記法が使用されます。

表記法	説明
<b>bold</b>	太字の文字は、表示どおりにユーザが入力するコマンドおよびキーワードです。
<i>italic</i>	イタリック体の文字は、ユーザが値を入力する引数です。
[x]	省略可能な要素（キーワードまたは引数）は、角カッコで囲んで示しています。
[x   y]	いずれか1つを選択できる省略可能なキーワードや引数は、角カッコで囲み、縦棒で区切って示しています。
{x   y}	必ずいずれか1つを選択しなければならない必須キーワードや引数は、波カッコで囲み、縦棒で区切って示しています。
[x {y   z}]	角カッコまたは波カッコが入れ子になっている箇所は、任意または必須の要素内の任意または必須の選択肢であることを表します。角カッコ内の波カッコと縦棒は、省略可能な要素内で選択すべき必須の要素を示しています。
variable	ユーザが値を入力する変数であることを表します。イタリック体を使用できない場合に使用されます。
string	引用符を付けない一組の文字。stringの前後には引用符を使用しません。引用符を使用すると、その引用符も含めてstringとみなされます。

例では、次の表記法を使用しています。

表記法	説明
screen フォント	スイッチが表示する端末セッションおよび情報は、screen フォントで示しています。
太字の screen フォント	ユーザが入力しなければならない情報は、太字の screen フォントで示しています。
イタリック体の screen フォント	ユーザが値を指定する引数は、イタリック体の screen フォントで示しています。
<>	パスワードのように出力されない文字は、山カッコ (<>) で囲んで示しています。
[ ]	システム プロンプトに対するデフォルトの応答は、角カッコで囲んで示しています。



表記法	説明
!、#	コードの先頭に感嘆符 (!) またはポンド記号 (#) がある場合には、コメント行であることを示します。

このマニュアルでは、次の表記法を使用しています。



(注) 「注釈」です。役立つ情報やこのマニュアルに記載されていない参照資料を紹介しています。



注意 「要注意」の意味です。機器の損傷またはデータ損失を予防するための注意事項が記述されています。

## Cisco Intercloud Fabric の関連資料

ここでは、Cisco Intercloud Fabric に付属のマニュアルと次の URL から入手可能なマニュアルを列挙します。

<http://www.cisco.com/c/en/us/support/cloud-systems-management/intercloud-fabric/tsd-products-support-series-home.html>

### 一般情報

『*Cisco Intercloud Fabric Release Notes*』

### インストール & アップグレード

『*Cisco Intercloud Fabric Getting Started Guide*』

### ユーザガイド

『*Cisco Intercloud Fabric User Guide*』

### コンフィギュレーションガイド

『*Cisco Intercloud Fabric Configuration Guide*』

『*Cisco Intercloud Fabric Firewall Configuration Guide*』

『*Cisco vPath and vServices Reference Guide for Intercloud Fabric*』

### プログラミング

『*Cisco Intercloud Fabric Director REST API Guide*』

## トラブルシューティング & アラート

『*Cisco Intercloud Fabric Troubleshooting Guide*』

### Cisco Intercloud Fabric Provider Platform

Cisco Intercloud Fabric Provider Platform で使用する次のマニュアルは、以下の URL から入手可能です。

<http://www.cisco.com/c/en/us/support/cloud-systems-management/intercloud-fabric/tsd-products-support-series-home.html>

『*Cisco Intercloud Fabric Provider Platform Release Notes*』

『*Cisco Intercloud Fabric Provider Platform Installation Guide*』

『*Cisco Intercloud Fabric Provider Platform Administrator Guide*』

『*Cisco Intercloud Fabric Provider Platform Troubleshooting Guide*』

### Cisco Nexus 1000V のマニュアル

[Cisco Nexus 1000V for VMware vSphere](#)

[Cisco Nexus 1000V for KVM](#)

[Cisco Nexus 1000V for Microsoft Hyper-V](#)

### Cisco Virtual Security Gateway に関するマニュアル

[Cisco Virtual Security Gateway](#)

『*Cisco Prime Network Services Controller Documentation*』

[Cisco Prime Network Services Controller](#)

### Cisco Cloud Services Router のマニュアル

[Cisco Cloud Services Router 1000V](#)

## マニュアルに関するフィードバック

このマニュアルに関する技術的なフィードバック、または誤りや記載もれなどお気づきの点がございましたら、HTML ドキュメント内のフィードバックフォームよりご連絡ください。

ご協力をよろしくお願いいたします。

## マニュアルの入手方法およびテクニカル サポート

マニュアルの入手、Cisco Bug Search Tool (BST) の使用、サービス要求の送信、追加情報の収集については、『*What's New in Cisco Product Documentation*』を参照してください。このドキュメントは、<http://www.cisco.com/c/en/us/td/docs/general/whatsnew/whatsnew.html> から入手できます。

『*What's New in Cisco Product Documentation*』では、シスコの新規および改訂版の技術マニュアルの一覧を、RSS フィードとして購読できます。また、リーダーアプリケーションを使用して、コンテンツをデスクトップに配信することもできます。RSS フィードは無料のサービスです。





# 第 1 章

## 概要

- [Cisco Intercloud Fabric](#)について, 1 ページ

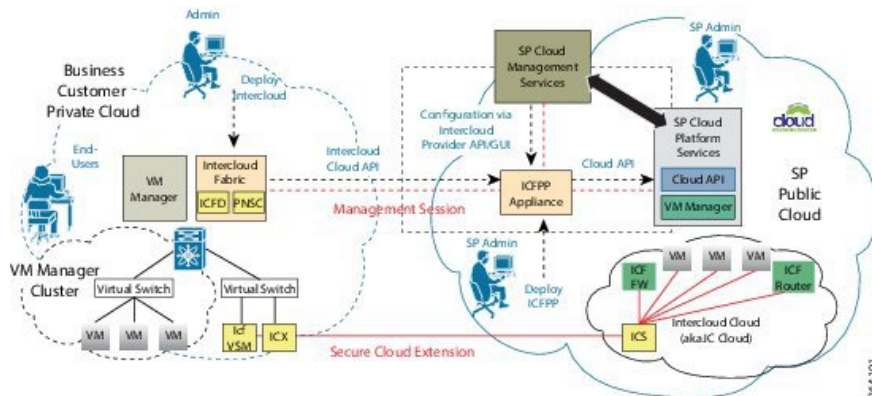
## Cisco Intercloud Fabricについて

Cisco Intercloud Fabric は、ビジネス ニーズに柔軟かつ迅速に対応し、ハイブリッドクラウドで直面する可能性がある課題に対処します。ハイブリッドクラウドは、プライベートクラウドとプロバイダークラウドの間のインタラクションであり、プライベートクラウドがプロバイダークラウドに拡張され、安全かつスケーラブルな方法でプロバイダークラウドのリソースを使用します。Cisco Intercloud Fabricを使用すると、複数のプロバイダークラウドでの異種環境にワークロードを配置できます。Cisco Intercloud Fabric は、安全なハイブリッドクラウドのアーキテクチャの基盤となります。これにより企業は、必要に応じて、オンデマンドでプライベートクラウドをプロバイダークラウドに容易かつ安全に接続できます。大規模な企業では、ハイブリッドクラウドの導入により、プライベートクラウドとプロバイダークラウド両方のメリットを同時に得ることができます。Cisco Intercloud Fabric には、次のような利点があります。

- 複数のプロバイダークラウドに分散する仮想ワークロードを一元的に管理および制御できます。
- Amazon Web Service、Microsoft Azure、および複数の Intercloud Fabric Provider ベースのクラウドなど、さまざまなクラウドプロバイダーから選択できます。
- プライベートクラウドをサービス プロバイダークラウドに拡張するための安全性の高いスケーラブルな接続を提供します。
- ハイブリッドクラウド全体に、一貫したネットワークポリシーとワークロードポリシーを適用します。

- 仮想ワークロードの場合、サービス プロバイダー クラウドとの間でワークロードの移動を可能にします。

図 1 : Cisco Intercloud Fabric





## 第 2 章

# ユーザとグループの管理

---

- [この章の対象読者, 3 ページ](#)
- [ユーザタイプの管理, 3 ページ](#)
- [ユーザタイプ, 4 ページ](#)
- [デフォルトのユーザ権限, 4 ページ](#)
- [グループの管理, 10 ページ](#)
- [管理プロファイルの設定, 13 ページ](#)
- [ユーザアクセスプロファイルの管理, 16 ページ](#)
- [グループおよび顧客組織のブランディング, 26 ページ](#)
- [ログインページのブランディング, 27 ページ](#)

## この章の対象読者

項で特に指定がない限り、この章の内容は管理者向けです。

## ユーザタイプの管理

システム管理者には、ユーザの追加、ユーザとユーザ権限の表示、さまざまなシステムコンポーネントに対する個別ユーザの読み取り/書き込み権限の変更など、Cisco Intercloud Fabric を管理するためのすべての権限が与えられています。

ほとんどのユーザに対してログイン時に表示され、使用できるのが、このガイドで説明する管理ポータルです。

## ユーザタイプ

Cisco Intercloud Fabric でサポートされるユーザタイプを次に示します。

- グループ管理者：このユーザには、他のユーザを追加できる権限があります。このユーザはセルフサービスポータルも使用できます。
- サービスエンドユーザ：このユーザはセルフサービスポータルの表示および使用のみが可能です。
- システム管理者

## デフォルトのユーザ権限

各管理ユーザには、Cisco Intercloud Fabric にアクセスするための一連の権限が付与されています。ユーザ権限のタイプは次のとおりです。

- 読み取り：読み取り権限では、ファイルの読み取りだけが可能です。
- 書き込み：書き込み権限では、ファイルの読み取り、書き込み、変更が可能です。この権限では、ファイルの変更、削除、または名前変更が許可されます。
- 読み取り/書き込み：読み取り/書き込み権限では、ファイルの読み取りおよび書き込みが可能です。

## グループ管理者

タスク	権限	
	読み取り	書き込み
仮想コンピューティング		はい
VM ラベル		はい
vDC への VM 割り当て		
仮想ストレージ		
仮想ネットワーク		
グループのサービス リクエスト	はい	はい



タスク	権限	
承認者のサービス リクエスト	はい	はい
予算		
リソース アカウンティング		
チャージバック		
システム管理者		
ユーザとグループ		
仮想アカウント		
カタログ	はい	
vDC	はい	
コンピューティング ポリシー	はい	はい
ストレージ ポリシー		
ネットワーク ポリシー		
導入ポリシー		
SLA ポリシー		
リソース制限レポート		
グループ ユーザ		
CloudSense レポート	はい	
CloudSense アセスメント レポート		
オーケストレーション		
検出		
MSP		

タスク	権限	
自動化モジュールを開く		
グループ ユーザ		
CS 共有レポート	はい	はい
CS 共有評価	はい	はい
リモート VM アクセス		
モバイル アクセス設定		
エンド ユーザのチャージバック	はい	
リソース アカウンティングの書き込み		
チャージバックの書き込み		
Cisco Intercloud Fabric クラスタ		

## サービス エンド ユーザ

タスク	権限	
	読み取り	書き込み
仮想コンピューティング		
VM ラベル		
vDC への VM 割り当て		
仮想ストレージ		
仮想ネットワーク		
グループのサービス リクエスト	はい	

タスク	権限	
承認者のサービス リクエスト	はい	はい
予算		
リソース アカウンティング		
チャージバック		
システム管理者		
ユーザとグループ		
仮想アカウント		
カタログ		
vDC		
コンピューティング ポリシー		
ストレージ ポリシー		
ネットワーク ポリシー		
導入ポリシー		
SLA ポリシー		
リソース制限レポート		
グループ ユーザ		
CloudSense レポート		
CloudSense アセスメント レポート		
オーケストレーション		
検出		
MSP		

タスク	権限	
自動化モジュールを開く		
グループ ユーザ		
CS 共有レポート		
CS 共有評価		
リモート VM アクセス		
モバイル アクセス設定		
エンド ユーザのチャージバック	はい	
リソース アカウンティングの書き込み		
チャージバックの書き込み		
Cisco Intercloud Fabric クラスタ		

## ユーザ ロールおよび権限

次の表に、各管理ユーザタイプに対応する権限のリストを示します。

権限	グループ管理者	サービス エンド ユーザ	システム管理者
仮想コンピューティング			読み取り/書き込み
VM ラベル			読み取り/書き込み
vDC への VM 割り当て			読み取り/書き込み
仮想ストレージ			読み取り/書き込み
仮想ネットワーク			読み取り/書き込み
グループのサービス リクエスト	読み取り/書き込み		読み取り/書き込み

権限	グループ管理者	サービス エンド ユーザ	システム管理者
承認者のサービス リクエスト	読み取り/書き込み		読み取り/書き込み
予算			読み取り/書き込み
リソース アカウンティング	読み取り		読み取り/書き込み
チャージバック	読み取り		読み取り/書き込み
システム管理者			読み取り/書き込み
ユーザとグループ			読み取り/書き込み
仮想アカウント			読み取り/書き込み
カタログ	読み取り		読み取り/書き込み
vDC	読み取り		読み取り/書き込み
コンピューティング ポリシー	読み取り/書き込み		読み取り/書き込み
ストレージ ポリシー			読み取り/書き込み
ネットワーク ポリシー			読み取り/書き込み
導入ポリシー			読み取り/書き込み
SLA ポリシー			読み取り/書き込み
リソース制限レポート	読み取り/書き込み		読み取り/書き込み
グループ ユーザ	書き込み		読み取り/書き込み
CloudSense レポート	読み取り	読み取り	読み取り/書き込み
CloudSense アセスメント レポート			読み取り/書き込み
オーケストレーション			読み取り/書き込み
Discovery			読み取り/書き込み
MSP			読み取り/書き込み
自動化モジュールを開く			読み取り/書き込み

権限	グループ管理者	サービス エンドユーザ	システム管理者
グループ ユーザ			読み取り/書き込み
CS 共有レポート	読み取り/書き込み		読み取り/書き込み
CS 共有評価	読み取り/書き込み		読み取り/書き込み
リモート VM アクセス			読み取り/書き込み
モバイル アクセス設定			読み取り/書き込み
エンドユーザのチャージバック	読み取り	読み取り	読み取り/書き込み
リソース アカウンティングの書き込み			読み取り/書き込み
チャージバックの書き込み			読み取り/書き込み
Cisco Intercloud Fabric クラスタ			読み取り/書き込み

## グループの管理

### グループの作成

#### 手順

- ステップ 1 Cisco Intercloud Fabric にログインします。
- ステップ 2 メニュー バーで、[管理 (Administration)] > [ユーザとグループ (Users and Groups)] の順に選択します。
- ステップ 3 [User Group] タブをクリックします。
- ステップ 4 [追加 (Add)] をクリックします。
- ステップ 5 [Add Group] ダイアログボックスで、次のフィールドに値を入力します。

フィールド名	説明
[Name] フィールド	グループの名前。

フィールド名	説明
[Description] フィールド	(任意) グループについての説明。
[Code] フィールド	グループの短い名前またはコード名。この名前は、VM とホスト名テンプレートで使用されます。
[Cost Center] フィールド	(任意) コストセンターの名前または番号。この名前または番号は、グループが関連付けられているコストセンターを表します。この名前は、VMware システム ポリシー VM の命名規則で使用できます。  VM 命名規則にコストセンターを使用する方法の詳細については、 <a href="#">ポリシーの管理</a> 、(29 ページ) を参照してください。
[Contact Email] フィールド	この電子メールは、必要に応じてサービスリクエストおよびリクエスト承認のステータスをグループ所有者に通知する目的で使用されます。
[First Name] フィールド	連絡先の名。
[Last Name] フィールド	連絡先の姓。
[Phone] フィールド	連絡先の電話番号。
[Address] フィールド	連絡先の住所。
[Group Share Policy] ドロップダウンリスト	このグループのユーザのグループ共有ポリシー。  このドロップダウンリストにデータが取り込まれるのは、グループ共有ポリシーを作成した場合だけです。
[Allow Resource Assignment To Users] チェックボックス	このチェックボックスをオンにすると、このグループのユーザに対し、各自に割り当てられているリソースのみが表示されます。ユーザ間でリソースを共有することはできません。

**ステップ 6** [追加 (Add) ] をクリックします。

### 次の作業

さらにグループを追加する場合は、この手順を繰り返します。

## パスワードポリシー

パスワードポリシーはすべてのユーザに適用され、すべてのユーザタイプに関して、ユーザを追加するか、パスワードを変更する際に適用されます。このポリシーによって、次のパスワード制限が適用されます。

- パスワードの長さ
- パスワードをユーザ名と同じにすることができるかどうか
- 現在のパスワードを新しいパスワードとして再設定できるかどうか
- パスワードで使用できない正規表現

### パスワードポリシーの作成

#### 手順

- ステップ 1** Cisco Intercloud Fabric にログインします。
- ステップ 2** メニューバーで、[管理 (Administration)] > [ユーザとグループ (Users and Groups)] の順に選択します。
- ステップ 3** [Password Policy] タブをクリックします。
- ステップ 4** 次のフィールドに入力します。

名称	説明
[Minimum Password Length] ドロップダウンリスト	パスワードの最小文字数。
[Maximum Password Length] ドロップダウンリスト	パスワードの最大文字数。
[Minimum Character Classes] ドロップダウンリスト	大文字、小文字、数字、特殊文字などの文字クラスの最小数。
[Disallow Login in Password] チェックボックス	ログイン ID と同じパスワードの使用を禁止するには、このチェックボックスをチェックします。
[Disallow Previous Password] チェックボックス	以前のパスワードの使用を禁止し、新しいパスワードが古いパスワードと同一にならないようにするには、このチェックボックスをオンにします。



名称	説明
[Disallow Passwords That Match Regular Expression] フィールド	パスワードでの使用を禁止する正規表現（1行に1つずつ）。たとえば.*abc.*は、指定するパスワードには文字列「abc」が含まれていてはならないことを指定します。

ステップ5 [送信 (Submit) ]をクリックします。

## 管理プロファイルの設定

### 管理者プロファイルの作成

#### 手順

ステップ1 Cisco Intercloud Fabric にログインします。

ステップ2 メニューバーで、[管理 (Administration) ]>[ユーザとグループ (Users and Groups) ]の順に選択します。

ステップ3 [Login Users] タブをクリックします。

ステップ4 [追加 (Add) ]をクリックします。

ステップ5 [Add User] ダイアログボックスで、次のフィールドに値を入力します。

フィールド名	説明
[User Role] ドロップダウンリスト	[System Admin] ユーザ ロールを選択します。システム管理者には、すべての権限が与えられています。
[Login Name] フィールド	ログイン名。
[Password] フィールド	管理者アカウントのパスワード。
[Confirm Password] フィールド	確認のために管理者アカウントのパスワードを再入力します。
[User Contact Email] フィールド	管理者の電子メールアドレス。
[First Name] フィールド	管理者の名。

フィールド名	説明
[Last Name] フィールド	管理者の姓。
[Phone] フィールド	管理者の電話番号。
[Address] フィールド	管理者の住所。

**ステップ 6** [追加 (Add) ] をクリックします。

---

## 管理者パスワードの変更

### 手順

---

- ステップ 1** Cisco Intercloud Fabric にログインします。
  - ステップ 2** メニューバーで、[管理 (Administration) ] > [ユーザとグループ (Users and Groups) ] の順に選択します。
  - ステップ 3** [Login Name] の列で、[admin] を選択します。
  - ステップ 4** [Change Password] をクリックします。
  - ステップ 5** [Change Password] ダイアログボックスで、管理ユーザの新しいパスワードを入力し、確認します。
  - ステップ 6** [保存 (Save) ] をクリックします。
- 

## ユーザグループへのユーザの追加

### はじめる前に

グループにユーザを追加する前に、そのグループが作成されていることを確認してください。

### 手順

---

- ステップ 1** Intercloud Fabric にログインします。
- ステップ 2** [Administration] > [Users and Groups] を選択します。
- ステップ 3** [Login User] タブをクリックします。
- ステップ 4** [Login Users] タブで、[Add Group] ボタンをクリックします。
- ステップ 5** [Add User] ダイアログボックスで、次のフィールドに値を入力します。

フィールド名	説明
[User Role] ドロップダウン リスト	ユーザ ロールを選択します。  (注) [Group Admin] ユーザタイプは、ユーザグループに割り当てることができる唯一の管理者ユーザ ロールです。
[User Group] ドロップダウン リスト	ユーザが属するグループまたは顧客組織を選択します。
[Login Name] フィールド	ユーザのログイン名。
[Password] フィールド	ユーザのパスワード。  (注) ユーザに対して Lightweight Directory Access Protocol (LDAP) 認証が設定されている場合、パスワードはローカルサーバではなく、LDAP サーバでのみ検証されます。
[Confirm Password] フィールド	確認のため、ユーザのパスワードをもう一度入力します。
[User Contact Email] フィールド	ユーザの電子メールアドレス。  (注) 電子メールアドレスは、サービスリクエストのステータスをグループ所有者に通知し、承認を要求するために必要です。
[First Name] フィールド	ユーザの名。
[Last Name] フィールド	ユーザの姓。
[Phone] フィールド	ユーザの電話番号です。
[Address] フィールド	ユーザの郵便住所です。

**ステップ 6** [Add] をクリックします。

## 現在のオンラインユーザの表示

### 手順

- 
- ステップ 1 Cisco Intercloud Fabric にログインします。
  - ステップ 2 メニューバーで、[管理 (Administration)] > [ユーザとグループ (Users and Groups)] の順に選択します。
  - ステップ 3 [Current Online Users] タブをクリックして、オンラインユーザのリストを表示します。ユーザ名、IP アドレス、セッションの開始時刻、最終データ アクセス、およびクライアントを確認できます。
- 

## ユーザ アクセス プロファイルの管理

### マルチロール アクセス プロファイル

1 人のユーザを複数のロールに割り当てることができます。これは、1 つのユーザ アクセス プロファイルとしてシステム内で反映されます。たとえば、あるユーザが、グループ管理者、および全ポリシーの管理者として Cisco Intercloud Fabric にログインしようとした場合、両方のタイプのアクセスが適切であれば、いずれのログインも可能です。

アクセス プロファイルは、ユーザごとに表示できるリソースも定義します。デフォルトでは、1 人のユーザが作成されたときに 1 つのアクセス プロファイルが作成されます。デフォルトでは、ユーザは自分のリソース、およびグループのリソースを参照できます。ユーザはプロファイルを作成して、自分のリソースを参照することも、グループで共有しているリソースのみを参照することもできます。



---

(注) プロファイルの 1 つを、デフォルトのユーザ アクセス プロファイルとして設定できます。

---



---

(注) [Manage Profiles] 機能を使用して、ユーザ アクセス プロファイルに対して追加、ログイン、編集、または削除を行うことができます。

---

## ユーザアクセス プロファイルの作成

### 手順

- ステップ 1 Cisco Intercloud Fabric にログインします。
- ステップ 2 メニューバーで、[管理 (Administration) ] > [ユーザとグループ (Users and Groups) ] の順に選択します。
- ステップ 3 [Login User] タブをクリックします。
- ステップ 4 リストからユーザを選択します。
- ステップ 5 [Manage Profiles] をクリックします。
- ステップ 6 [Manage Profiles] ウィンドウで、[add+] をクリックします。
- ステップ 7 [Add Entry to Access Profiles] ダイアログ ボックスで、次のフィールドに値を入力します。

フィールド名	説明
[Name] フィールド	プロファイル名。
[Description] フィールド	プロファイルの説明です。
[Type] ドロップダウン リスト	ユーザ ロールのタイプを選択します。
[Groups] ドロップダウン リスト	ユーザ グループを選択します。  (注) このオプションは、[System Admin] 以外のユーザ ロールタイプを選択した場合に表示されます。
[Show Own Resources From All Groups The User Has Access] チェックボックス	ユーザが自分に割り当てられたすべてのリソースを表示できるようにするには、このチェックボックスをオンにします。  (注) このオプションは、[System Admin] 以外のユーザ ロールタイプを選択した場合に表示されます。
[Show Resources From All Other Groups the user has access] チェックボックス	ユーザがアクセスできるか、ユーザがその一部であるすべての他のグループからのリソースを表示できるようにするには、このチェックボックスをオンにします。  (注) このオプションは、[System Admin] 以外のユーザ ロールタイプを選択した場合に表示されます。

フィールド名	説明
[Shared Groups] チェックボックス リスト	[Select Items] ダイアログボックスで、追加するグループの横にあるチェックボックスをオンにします。  (注) このオプションは、[System Admin] 以外のユーザ ロール タイプを選択しており、かつ [Show Resources From All Other Groups the user has access] チェックボックスをオンにしていない場合に表示されます。
[Default Profile] チェックボックス	これがデフォルト ユーザ アクセス プロファイルである場合は、このチェックボックスをオンにします。デフォルトではない場合は、このチェックボックスをオフにします。

**ステップ 8** [送信 (Submit) ] をクリックします。

#### 次の作業

必要に応じて、追加のユーザ プロファイルを作成します。

## ユーザ アクセス プロファイルの編集

### 手順

- ステップ 1 Cisco Intercloud Fabric にログインします。
- ステップ 2 メニュー バーで、[管理 (Administration) ] > [ユーザとグループ (Users and Groups) ] の順に選択します。
- ステップ 3 [Login User] タブをクリックします。
- ステップ 4 リストからユーザを選択します。
- ステップ 5 [Manage Profiles] をクリックします。
- ステップ 6 [Manage Profiles] ウィンドウで、リストからプロファイルを選択します。
- ステップ 7 [編集 (Edit) ] をクリックします。
- ステップ 8 [Edit Access Profiles Entry] ダイアログ ボックスで、次のフィールドに値を入力します。

フィールド名	説明
[Name] フィールド	<p>プロフィール名。</p> <p>(注) このオプションは編集できません。</p>
[Description] フィールド	<p>プロフィールの説明です。</p>
[Type] ドロップダウン リスト	<p>ユーザ ロールのタイプを選択します。</p> <p>(注) このオプションを編集できるのは、ユーザ ロール タイプが [System Admin] の場合だけです。</p>
[Groups] ドロップダウン リスト	<p>ユーザ グループを選択します。</p> <p>(注) このオプションは、ロールが [System Admin] 以外の場合、またはロールを [System Admin] から他のロールに変更した場合に表示されます。ロールがすでに [System Admin] 以外の場合は、このオプションは編集できません。</p>
[Show Resources From All Groups The User Has Access] チェックボックス	<p>ユーザが自分に割り当てられたすべてのリソースを表示できるようにするには、このチェックボックスをオンにします。</p> <p>(注) このオプションは、ロールが [System Admin] 以外の場合に表示されます。</p>
[Shared Groups] チェックボックス リスト	<p>[Select Items] ダイアログボックスで、追加するグループの横にあるチェックボックスをオンにします。</p> <p>(注) このオプションは、ロールが [System Admin] 以外であり、かつ [Show Resources From All Groups The User Has Access] チェックボックスをオンにしなかった場合に表示されます。</p>
[Default Profile] チェックボックス	<p>これがデフォルト ユーザ アクセス プロファイルである場合は、このチェックボックスをオンにします。デフォルトではない場合は、このチェックボックスをオフにします。</p>

**ステップ 9** [送信 (Submit) ] をクリックします。

## ユーザ アクセス プロファイルの削除

### 手順

- ステップ 1 Cisco Intercloud Fabric にログインします。
- ステップ 2 メニュー バーで、[管理 (Administration)] > [ユーザとグループ (Users and Groups)] の順に選択します。
- ステップ 3 [Login User] タブをクリックします。
- ステップ 4 リストからユーザを選択します。
- ステップ 5 [Manage Profiles] をクリックします。
- ステップ 6 [Manage Profiles] ウィンドウで、削除するユーザを選択します。
- ステップ 7 [Manage Profiles] ダイアログボックスで、[Remove] をクリックします。

## プロファイルへのログイン

### 手順

- ステップ 1 [Cisco Intercloud Fabric Login] ダイアログボックスの [Username] フィールドに、ユーザ名を「ユーザ名: アクセス プロファイル名」の形式で入力します。  
次に例を示します。  
User1: GrpAdmin
- ステップ 2 [Password] フィールドにパスワードを入力します。
- ステップ 3 [Log In] をクリックします。

## プロファイルの削除

デフォルトプロファイルは、システムで作成した最初のプロファイルです。デフォルトプロファイルを別のプロファイルに変更できます。新しいデフォルトプロファイルを使用し、ユーザ名とパスワードを入力してログインします。



## デフォルト プロファイルの変更

### 手順

- 
- ステップ 1** ウィンドウ右上 ([Log Out] の左側) で、ユーザ名をクリックします。
  - ステップ 2** [User Information] ウィンドウの [Access Profiles] タブをクリックします。
  - ステップ 3** ユーザ プロファイルを選択し、[Set as Default Profile] をクリックします。  
 (注) プロファイルを追加または編集するときにも、プロファイルをデフォルトとして設定できます。
- 

## 認証および LDAP 統合

ローカル認証に対してフォールバックがある設定、フォールバックがない設定、および LDAP に対してフォールバックがある設定が可能です。また、フォールバックを行わない VeriSign ID 保護 (VID) 認証を設定できます。

名称	説明
[Local Authentication]	認証は、ローカルのみ (Cisco Intercloud Fabric) で実行され、LDAP サーバ経由では実行されません。
[Local First]	認証は最初にローカル サーバで実行されます (Cisco Intercloud Fabric)。ユーザがローカル サーバにない場合、LDAP サーバが確認されます。
[LDAP First]	認証は最初に LDAP サーバで実行されます。ユーザが LDAP サーバに存在しない場合、ローカル サーバ (Cisco Intercloud Fabric) が確認されます。
[VeriSign Identity Protection]	VIP 認証サービス (2 要素認証) が有効化されます。

## 認証の環境設定

### 手順

- ステップ 1** Cisco Intercloud Fabric にログインします。
- ステップ 2** メニュー バーで、[管理 (Administration)] > [ユーザとグループ (Users and Groups)] の順に選択します。
- ステップ 3** [Authentication Preferences] タブをクリックします。
- ステップ 4** [Authentication Preferences] ペインで、次のフィールドに値を入力します。

名称	説明
[Authentication Preferences] ドロップダウン リスト	<p>認証の環境設定を選択します。 次のいずれかを選択できます。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>• [Local Authentication]</li> <li>• [Local First]</li> <li>• [LDAP First]</li> <li>• [VeriSign Identity Protection]</li> </ul>

- ステップ 5** (任意) [Verisign Identity Protection] を選択した場合は、次の手順を実行します。
- a) VIP 証明書をアップロードするには、[Browse] をクリックします。  
証明書を見つけて選択し、[Upload] をクリックします。
  - b) [Password] を入力します。
- ステップ 6** [Save] をクリックします。

### 次の作業

[Local First, fallback to LDAP] または [LDAP First, fallback to Local] を選択した場合は、LDAP サーバを設定する必要があります。

## LDAP 統合

LDAP 統合を使用して、LDAP サーバのグループとユーザを Cisco Intercloud Fabric と同期できます。LDAP 認証により、同期されたユーザを LDAP サーバで認証することができます。LDAP ユーザおよびグループは、自動または手動で同期できます。LDAP 同期はシステム タスクとしても実行できます。



(注) グループ、またはドメインユーザのグループに属していないユーザは、[Users with No Group] として LDAP に表示されます。これらのユーザは、Cisco Intercloud Fabric のドメインユーザのグループの下に追加されます。



(注) Intercloud Fabric で複数の Active Directory サーバが設定されている場合、ユーザは、ドメインネームシステム (DNS) サフィックスを使用してログインする必要があります。

ローカルに存在しているユーザおよびグループ、または Cisco Intercloud Fabric で外部から同期されているユーザおよびグループは選択できません。

## LDAP 統合の規則と制限事項

### グループの同期規則

- 選択した LDAP グループが Cisco Intercloud Fabric にすでに存在しており、ソースのタイプが [Local] の場合、そのグループは同期中に無視されます。
- 選択した LDAP グループが Cisco Intercloud Fabric にすでに存在しており、グループソースのタイプが [External] の場合、そのグループの説明および電子メール属性が Cisco Intercloud Fabric で更新されます。
- 高度な検索オプションを使用すると、手動検索の選択において最大 1,000 人のユーザが（可用性に応じて）表示されます。このオプションは、[Request Manual LDAP Sync] をクリックすると使用可能になります。

### ユーザの同期規則

- 選択した LDAP ユーザが Cisco Intercloud Fabric にすでに存在しており、ソースのタイプが [Local] の場合、そのユーザは同期中に無視されます。
- 選択した LDAP ユーザが Cisco Intercloud Fabric にすでに存在しており、ソースのタイプが [External] の場合、そのユーザの名前、説明、電子メール、およびその他の属性が更新され、使用できるようになります。

### ユーザ同期の制限事項

- あるユーザが複数のグループメンバーシップを持っていても、そのユーザは Cisco Intercloud Fabric では単一のグループメンバーシップを持つこととなります。



(注) LDAP 同期プロセスの後には、ユーザが正しいグループに割り当てられていることを確認してください。

## LDAP 統合の管理

### 手順

- ステップ 1** メニューバーで、[管理 (Administration)] > [ユーザとグループ (Users and Groups)] の順に選択します。
- ステップ 2** LDAP サーバの同期の状態を確認するには、[LDAP Integration] タブを選択します。
- ステップ 3** (任意) LDAP 統合を管理するため、サーバを選択し、必要に応じて次のボタンをクリックします。

名称	説明
[Search Base DN] ボタン	<p>検索するドメインの識別名を選択できます。LDAP 同期処理が完了すると、選択した組織のすべてのユーザとグループが Cisco Intercloud Fabric に取り込まれます。このアクションも、自動同期処理とみなされます。</p> <p>(注) LDAP サーバ同期をシステム タスクとして開始できます。</p>
[Request LDAP Sync]	<p>オンデマンドでの LDAP サーバ同期を有効にします。このアクションは、[Search Base DN] で選択した組織のユーザとグループを同期します。LDAP から追加されたグループおよびユーザは、[External] タイプとして表示されます。Cisco Intercloud Fabric により追加されたグループおよびユーザは、[Local] タイプとして表示されます。</p> <p>[Submit] をクリックして、サーバを同期します。LDAP ユーザの変更は即時に反映されます。</p> <p>(注) LDAP 同期の処理が完了したら、ユーザが正しいグループに割り当てられていることを確認します。</p> <p>ステップ 4 に進みます。</p>
[Request Manual LDAP Sync]	<p>表示されるダイアログボックスでは、LDAP ユーザおよびグループを取得するための基本検索条件または拡張検索条件を指定できます。</p> <p>ステップ 6 に進みます。</p>

**ステップ 4** (任意) LDAP 同期リクエストの場合、IP でアドレス/ドメイン名を確認し、[Submit] をクリックします。

**ステップ 5** (任意) [LDAP Manual Server Sync] を選択した場合は、次のフィールドに値を入力します。

名称	説明
[Basic Search] フィールド	組織単位による基本検索を有効にするには、このチェックボックスをオンにします。 オンになっている場合は、ステップ 6 に進みます。
[Advanced Search] フィールド	拡張検索を有効にするには、このチェックボックスをオンにします。 オンになっている場合は、ステップ 8 に進みます。

**ステップ 6** 基本検索の場合は [Select] をクリックします。

**ステップ 7** 検索する識別名を選択して、[Select] をクリックします。

**ステップ 8** 拡張検索の場合は、[Select Users and Groups] ペインで、[User Filters] と [Group Filters] に属性名を追加または編集します。

**ステップ 9** [次へ (Next) ] をクリックします。

**ステップ 10** [LDAP Groups] と [LDAP Users] を選択します。

**ステップ 11** [Submit] をクリックして、LDAP サーバを同期します。

## シングルサインオン

Cisco Intercloud Fabric はワンログインを使用してシングルサインオンを提供します。シングルサインオンは、ユーザがアプリケーションにアクセスするために、パスワードを複数回入力することを不要にします。シングルサインオンが有効な場合、ユーザはポータルにログインして Cisco Intercloud Fabric にアクセスできます。



(注) シングルサインオンは、ワンログイン証明書を登録した後、Cisco Intercloud Fabric で使用可能になります。

## シングルサインオンの有効化

## 手順

- 
- ステップ 1 Cisco Intercloud Fabric にログインします。
  - ステップ 2 メニューバーで、[管理 (Administration)] > [ユーザとグループ (Users and Groups)] の順に選択します。
  - ステップ 3 [Single Sign-On] タブをクリックします。
  - ステップ 4 [Single Sign-On] ペインで、[Enable Single Sign-On] チェックボックスをオンにします。
  - ステップ 5 [Select a File for Upload] フィールドで、ワンログイン証明書ファイルを参照し、選択します。
  - ステップ 6 [アップロード (Add)] をクリックします。
  - ステップ 7 アップロードが完了したら、[Submit] をクリックします。
- 

## グループおよび顧客組織のブランディング

## 手順

- 
- ステップ 1 Cisco Intercloud Fabric にログインします。
  - ステップ 2 メニューバーで、[管理 (Administration)] > [ユーザとグループ (Users and Groups)] の順に選択します。
  - ステップ 3 [User Group] タブをクリックします。
  - ステップ 4 ブランディングするグループを選択します。
  - ステップ 5 [Branding] をクリックします。
  - ステップ 6 [Group Branding] ダイアログボックスで、次のフィールドに値を入力します。

フィールド名	説明
[Logo Image] チェックボックス	ロゴイメージをアップロードするには、このチェックボックスをオンにします。 ステップ 6 に進みます。
[Application Labels] チェックボックス	アプリケーションヘッダーに表示するアプリケーションラベルをカスタマイズするには、このチェックボックスをオンにします。 ステップ 8 に進みます。

フィールド名	説明
[URL Forwarding on Logout] チェックボックス	ログアウト時に特定の URL に転送するには、このチェックボックスをオンにします。 ステップ 9 に進みます。
[Custom Links] チェックボックス	カスタムリンクをブランディングするには、このチェックボックスをオンにします。 ステップ 10 に進みます。

- ステップ 7** [Select a File for Upload] フィールドで、ロゴイメージファイルを参照して選択します。  
(注) ロゴイメージの形式が PNG、JPG、または GIF であることを確認します。最適なイメージサイズは幅 200 ピクセル、高さは 100 ピクセルです。ダウンロード時間を短縮するため、イメージサイズを小さくしておくことをお勧めします。
- ステップ 8** [アップロード (Add) ] をクリックします。
- ステップ 9** (任意) アプリケーションラベルとして、[Label 1] および [Label 2] フィールドに少なくとも 1 つのアプリケーションのラベルを入力します。
- ステップ 10** (任意) [URL] フィールドに、ログアウト時にユーザを転送する URL を入力します。
- ステップ 11** (任意) 少なくとも最初の 2 つのフィールドに値を入力してください。

名称	説明
[Custom Link 1 Label] フィールド	カスタムリンク 1 のラベル。
[Custom Link 1 URL] フィールド	カスタムリンク 1 の URL。
[Custom Link 2 Label] フィールド	カスタムリンク 2 のラベル。
[Custom Link 2 URL] フィールド	カスタムリンク 2 の URL。

- ステップ 12** [送信 (Submit) ] をクリックします。

## ログインページのブランディング

ログインページは、ドメイン名に関連付けられているロゴを示すように設定できます。エンドユーザがそのドメインからログインすると、ログインページでそのカスタムロゴが表示されます。ロゴの最適なイメージのサイズは幅 890 ピクセル、高さ 470 ピクセルで、余白に 255 ピクセルが割り当てられています。ダウンロード時間を短縮するため、イメージサイズを小さくしておくことをお勧めします。



(注) グループまたは顧客組織のログインページは、最初にブランディングで設定される（有効にされる）必要があります。

## カスタムドメインロゴの設定

### 手順

- ステップ 1** Cisco Intercloud Fabricにログインします。
- ステップ 2** メニューバーで、[管理（Administration）]>[ユーザとグループ（Users and Groups）]の順に選択します。
- ステップ 3** [Login Page Branding] タブをクリックします。
- ステップ 4** [追加（Add）] をクリックします。
- ステップ 5** [Domain Branding] ダイアログボックスで、次のフィールドに値を入力します。

名称	説明
[Domain Name] フィールド	ブランディングするドメイン名。
[Custom Domain Logo] チェックボックス	指定したドメイン名からのログインページのブランディングを有効にするには、このチェックボックスをオンにします。
[Select a File for Upload] フィールド	アップロードするロゴファイル。ロゴの最適なイメージサイズは、幅 890 ピクセル、高さ 470 ピクセル、余白 255 ピクセルです。ダウンロード時間を短縮するため、イメージサイズを小さくしておくことをお勧めします。  (注) このオプションは、[Custom Domain Logo] チェックボックスをオンにした場合に表示されます。

- ステップ 6** [送信（Submit）] をクリックします。





## 第 3 章

# ポリシーの管理

---

- [この章の対象読者](#), 29 ページ
- [ポリシー](#), 29 ページ
- [Intercloud ポリシーの管理](#), 30 ページ

## この章の対象読者

項で特に指定がない限り、この章の内容は管理者向けです。

## ポリシー

Cisco Intercloud Fabric は、管理者が設定した事前定義済みポリシーを使用して、割り当てられたリソース プールから仮想マシン (VM) がプロビジョニングされるセルフサービス ポータルを提供します。

ポリシーは、システム リソースの可用性に基づいて、新しい VM がインフラストラクチャ内でプロビジョニングされる場所と方法を規定する規則のグループです。

Cisco Intercloud Fabric では、VM をプロビジョニングするために次のポリシーをセットアップする必要があります。

- ネットワーク
- システム



### 重要

---

VM のプロビジョニングのポリシーをセットアップする前にクラウドアカウントが存在している必要があります。

---

# Intercloud ポリシーの管理

## ネットワーク ポリシー

ネットワーク ポリシーには、ネットワーク設定、DHCP、スタティック IP などのリソースが含まれ、このポリシーを使用してプロビジョニングされた VM に対して複数の vNIC を追加するためのオプションが含まれています。

### Intercloud Fabric ネットワーク ポリシーの作成

Intercloud Fabric ネットワーク ポリシーを作成するには、次の手順を使用します。

#### 手順

- ステップ 1** Intercloud Fabric にログインします。
- ステップ 2** [Policies] > [Virtual/Hypervisor Policies] > [Network] を選択します。
- ステップ 3** [Network] ウィンドウで [Intercloud Network Policy] タブを選択します。
- ステップ 4** [Intercloud Network Policy] タブで、[Add] ボタンをクリックします。  
[Add Intercloud Network Policy Information] ウィンドウが表示されます。
- ステップ 5** [Add Intercloud Network Policy Information] の次のフィールドに値を入力します。

名前	説明
[Policy Name] フィールド	ネットワーク ポリシーの名前。
[Policy Description] フィールド	ネットワーク ポリシーの説明。
[Cloud Name] ドロップダウン リスト	ネットワーク ポリシーの Intercloud Fabric Cloud 名。
[NICs] ドロップダウン リスト	既存の NIC を選択するか、または新しい NIC を作成します。
[NIC Name] フィールド	仮想マシン ネットワークの NIC エイリアス。
[Mandatory] チェックボックス	このチェックボックスをオンにすると、NIC が編集不可になります。
[Port Groups] ボタン	ポート プロファイルまたはポート グループを選択する場合にクリックします。

名前	説明
[Port Profile Name] チェックボックス	リストからポートプロファイルまたはポートグループを選択します。選択するポートグループが VMware vSwitch または Cisco Nexus 1000V スイッチのポートグループの場合、Intercloud Fabric VSM によりそのポートグループが自動的に作成されます。  (注) Intercloud Fabric に Cisco Nexus 1000V スイッチが追加されました。 <a href="#">ネットワーク要素の追加</a> を参照してください。
[Select IP Address Type] ドロップダウン リスト	ネットワーク ポリシーの IP アドレスの種類を選択します。
[Static IP Pool] ボタン	リストからスタティック IP プール ポリシーを選択します。  このフィールドは、[Select IP Address Type] ドロップダウン リストから [Static] を選択すると表示されます。
[Save NIC] ボタン	保存する場合にクリックします。

**ステップ 6** [Submit] をクリックします。`

## スタティック IP プール ポリシーの作成

スタティック IP プール ポリシーを作成するには、次の手順を使用します。

Intercloud Fabric では、次のコンポーネントに対して IP プールが使用されます。

- プライベートクラウドの Intercloud Fabric VSM、PNSC などのインフラストラクチャ コンポーネント。
- プロバイダークラウドの Intercloud Fabric Extender、Intercloud Fabric Switch などのインフラストラクチャ コンポーネント。
- クラウドの仮想マシンアドレス。

IP プールの作成時には次のガイドラインを使用します。

- 3 つの別個の IP プールを作成することを推奨します。

- IP プール1：インフラストラクチャ設定時にプライベートクラウドで作成される Intercloud Fabric VSM、PNSC などのインフラストラクチャ コンポーネントの IP プール。
  - IP プール2：インフラストラクチャ設定時にプロバイダークラウドで作成される Intercloud Fabric Extender、Intercloud Fabric Switch などのインフラストラクチャ コンポーネントの IP プール。
  - IP プール3：クラウドの仮想マシンアドレスの IP プール。
- 複数のアプリケーション層が必要な場合は、作成する IP プールの数を増やす必要があります。インフラストラクチャ設定時に IP プールの詳細を表示または編集できない場合は、Intercloud Fabric 設定時にプライベートクラウドのインフラストラクチャ コンポーネントの IP プールを指定する必要があります。
  - 複数の Intercloud Fabric Cloud で使用される 1 つの IP プールを選択する場合は、IP が通信できる必要があります。それ以外の場合は、Intercloud Fabric Extender、Intercloud Fabric Switch、および関連サービスをサポートできる十分な大きさのサブネット プールを使用してください。
  - 3 番目のプールセットに事前に名前を付けておく必要はありませんが、このプールセットはクラウドの仮想マシン用に使用できます。

## 手順

- ステップ 1** Intercloud Fabric にログインします。
- ステップ 2** [Policies] > [Virtual/Hypervisor Policies] > [Network] を選択します。
- ステップ 3** [Network] ウィンドウで、[Static IP Pool Policy] タブを選択します。
- ステップ 4** [Static IP Pool Policy] タブで、[Add] ボタンをクリックします。  
[Static IP Pool Policy] ウィンドウが表示されます。
- ステップ 5** [Static IP Pool Policy Information] の次のフィールドに値を入力します。

名前	説明
[Policy Name] フィールド	ポリシーの名前。
[Policy Description] フィールド	ポリシーの説明。
[Static IP Pools] ペイン	エントリを追加するには、プラスアイコンをクリックします。

- ステップ 6** [Add Entry to Static IP Pools] の次のフィールドに値を入力します。

名前	説明
[Static IP Pool] フィールド	ポリシーの IP プール範囲。

名前	説明
[Subnet Mask] フィールド	ポリシーのサブネット マスク。
[Gateway IP Address] フィールド	ポリシーのゲートウェイアドレス。このフィールドは、Intercloud Fabric では必須です。
[VLAN ID] フィールド	ポリシーの VLAN ID。このフィールドは、Intercloud Fabric では必須です。

**ステップ 7** [Submit] をクリックします。`

## VMware ネットワーク ポリシーの作成

VMware ネットワーク ポリシーを作成するには、次の手順を使用します。

### 手順

- ステップ 1** Intercloud Fabricにログインします。
- ステップ 2** [Policies] > [Virtual/Hypervisor Policies] > [Network] を選択します。
- ステップ 3** [Network] ウィンドウで [VMware Network Policy] タブをクリックします。
- ステップ 4** [VMware Network Policy] タブで、[Add] ボタンをクリックします。
- ステップ 5** [Network Policy Information] ウィンドウで、次のフィールドに値を入力します。

名前	説明
[Policy Name] フィールド	ネットワーク ポリシーの名前。
[Policy Description] フィールド	ネットワーク ポリシーの説明。
[Cloud Name] ドロップダウン リスト	ネットワーク ポリシーのクラウドの名前を選択します。
[NICs] ドロップダウン リスト	既存の NIC を選択するか、または新しい NIC を作成します。
[NIC Name] フィールド	仮想マシン ネットワークの NIC エイリアス。
[Required] チェックボックス	このチェックボックスをオンにすると、NIC が編集不可になります。

名前	説明
[Port Groups] ボタン	ポート プロファイルまたはポート グループを選択する場合にクリックします。
[Port Profile Name] チェックボックス	リストからポート プロファイルまたはポート グループを選択します。選択するポートグループが VMware vSwitch または Cisco Nexus 1000V スイッチのポート グループの場合、Intercloud Fabric VSM によりそのポート グループが自動的に作成されます。  (注) Intercloud Fabric に Cisco Nexus 1000V スイッチが追加されました。 <a href="#">ネットワーク要素の追加</a> を参照してください。
[Save NIC] ボタン	保存する場合にクリックします。

ステップ 6 [Submit] をクリックします。`

## システム ポリシー

システム ポリシーは、システム固有の情報（使用するテンプレート、タイムゾーン、オペレーティングシステム固有の情報など）を定義します。

### Intercloud Fabric システム ポリシーの作成

Intercloud Fabric システム ポリシーを作成するには、次の手順を使用します。

#### 手順

- ステップ 1 Intercloud Fabricにログインします。
- ステップ 2 [Policies] > [Virtual/Hypervisor Policies] > [System Policy] を選択します。
- ステップ 3 [System Policy] ウィンドウで [Intercloud System Policy] タブを選択します。
- ステップ 4 [Intercloud System Policy] タブで、[Add] ボタンをクリックします。  
[Add Intercloud System Policy Information] ウィンドウが表示されます。
- ステップ 5 [Add Intercloud System Policy Information] の次のフィールドに値を入力します。

名前	説明
[Policy Name] フィールド	システム ポリシーの名前。
[Policy Description] フィールド	システム ポリシーの説明。
[VM Name Template] フィールド	VM テンプレートの名前。
[End User VM Name or VM Prefix] チェックボックス	エンドユーザがVMの名前を定義できるようにするには、このチェックボックスをオンにします。
[DNS Domain] フィールド	DNS ドメインの名前。
[DNS Server List] フィールド	DNS サーバの IP アドレス。

ステップ 6 [Submit] をクリックします。

## VMware コンピューティング ポリシーの作成

VMware コンピューティング ポリシーを作成するには、次の手順を使用します。

### 手順

- ステップ 1 Intercloud Fabricにログインします。
- ステップ 2 [Policies] > [Virtual/Hypervisor Policies] > [Computing] を選択します。
- ステップ 3 [Computing] ウィンドウで [VMware Computing Policy] タブを選択します。
- ステップ 4 [VMware Computing Policy] タブで、[Add] ボタンをクリックします。
- ステップ 5 [Add Computing Policy] ウィンドウで、次のフィールドに値を入力します。

名前	説明
[Policy Name] フィールド	ポリシーの名前。  (注) この名前は、カタログの定義で使用されます
[Policy Description] フィールド	ポリシーの説明。
[Cloud Name] ドロップダウン リスト	リソース割り当てを行うクラウドを選択します。

名前	説明
[Selected Host Nodes] ボタン	ノードを選択するにはこのチェックボックスをオンにして、[Select] をクリックします。

**ステップ 6** [Submit] をクリックします。`

---





## 第 4 章

# 仮想データセンターの管理

---

- [この章の対象読者, 37 ページ](#)
- [仮想データセンターの管理について, 37 ページ](#)
- [エンタープライズ仮想データセンターの管理, 38 ページ](#)
- [Intercloud 仮想データセンターの管理, 48 ページ](#)

## この章の対象読者

項で特に指定がない限り、この章の内容は管理者向けです。

## 仮想データセンターの管理について

仮想データセンター（VDC）は、仮想リソース、動作の詳細、ルール、およびポリシーを組み合わせて特定のグループの要件を管理する環境です。

1つのグループまたは組織で複数の VDC、イメージ、テンプレート、およびポリシーを管理できます。組織は個々のグループに VDC レベルでクォータを割り当て、リソース制限を割り当てることができます。

また、VDC に固有の承認者を定義できます。VDC の承認者は、ユーザからの VM プロビジョニングの要求を承認する必要があります。



---

(注) Cisco Intercloud Fabric にはデフォルトの VDC があり、検出されたすべての VM は、このデフォルト VDC の一部です。検出された VM は Cisco Intercloud Fabric の外部で作成された VM か、または Cisco Intercloud Fabric がインストールされる前に vCenter ですでに作成されていた VM です。Cisco Intercloud Fabric はこのような VM を自動的に検出し、デフォルト VDC に追加します。

---

サービス要求を使用してプロビジョニングされた VM は VDC に関連付けることができます。サービス要求を作成するとき、この VM をプロビジョニングする VDC を選択できます。VM のプロビジョニング時には、特定のグループで利用可能な VDC のリストを表示し、必要な VDC を選択できます。

## エンタープライズ仮想データセンターの管理

### プライベート仮想データセンターの作成

Intercloud Fabric のプライベート仮想データセンターを作成するには、次の手順を使用します。

#### はじめる前に

Intercloud Fabric のポリシーを作成しておきます。

#### 手順

- 
- ステップ 1 Intercloud Fabric にログインします。
  - ステップ 2 [Intercloud] > [IcfCloud] を選択します。
  - ステップ 3 [IcfCloud] ウィンドウで、[IcfCloud] タブをクリックします。
  - ステップ 4 [IcfCloud] タブで、[Add vDC] ボタンをクリックします。  
[Add vDC] ウィザードが表示されます。
  - ステップ 5 [Add vDC] ウィザードを表示するもう 1 つの方法として、[Policies] > [Virtual/Hypervisor Policies] > [Virtual Data Centers] > [Add vDC] に移動する方法があります。
  - ステップ 6 [Add vDC] の次のフィールドに値を入力します。

名前	説明
[Cloud Type] ドロップダウンリスト	VMware クラウドタイプを選択します。

- ステップ 7 [Submit] をクリックします。
- ステップ 8 [Add private vDC] の次のフィールドに値を入力します。

名前	説明
一般情報	
[vDC Name] フィールド	仮想データセンターの名前。
[vDC Description] フィールド	仮想データセンターの説明。

名前	説明
[Groups] ドロップダウン リスト	<p>既存のユーザグループを選択するか、または [Add Group (+)] ボタンをクリックして、データセンターのユーザグループを作成します。新規ユーザグループの作成については、<a href="#">ユーザグループの作成</a>を参照してください。</p> <p>仮想データセンターの作成後にこの値を変更することはできません。</p>
[Cloud Name] ドロップダウン リスト	<p>仮想データセンターのクラウドの名前を選択します。</p> <p>仮想データセンターの作成後にこの値を変更することはできません。</p>
ポリシー	
[Computing Policy] ドロップダウン リスト	<p>既存のコンピューティングポリシーを選択するか、仮想データセンターのコンピューティングポリシーの作成を選択します。</p> <p>ホスト/クラスタを選択する必要があります。デフォルトのコンピューティングポリシーではホスト/クラスタが選択されていません。</p>
[Network Policy] ドロップダウン リスト	<p>既存のネットワークポリシーを選択するか、仮想データセンターのネットワークポリシーの作成を選択します。</p> <p>ホスト/クラスタを選択する必要があります。デフォルトのネットワークポリシーではホスト/クラスタが選択されていません。</p> <p>デフォルトのネットワークポリシーにはNICがありません。デフォルトポリシーを変更してNICを追加するか、または新しいネットワークポリシーを作成することができます。</p> <p>ネットワークポリシーの作成については、<a href="#">ユーザグループの作成</a>を参照してください。</p>

- ステップ 9** [Add] をクリックして、プライベート仮想データセンターを追加します。
- ステップ 10** タスクの状態を表示するには、[Intercloud] > [Compute] を選択します。
- ステップ 11** クラウドを選択し、[vDC] タブをクリックします。

vDC レポートが表示されます。レポートの詳細については、『*Cisco Intercloud Fabric User Guide*』を参照してください。

## 仮想データセンターの表示

### 手順

- ステップ 1 Cisco Intercloud Fabric にログインします。
- ステップ 2 メニュー バーで、[ポリシー (Policies)] > [仮想/ハイパーバイザポリシー (Virtual/Hypervisor Policies)] > [仮想データセンター (Virtual Data Centers)] を選択します。
- ステップ 3 [All User Groups] ペインで、表示する VDC が含まれている VDC グループを選択します。
- ステップ 4 [VDC] タブをクリックします。
- ステップ 5 メインの表示ペインで、表示する VDC を選択します。
- ステップ 6 [View] をクリックして、[VDC Details] ページを開きます。

## 仮想データセンターの編集

### 手順

- ステップ 1 Cisco Intercloud Fabric にログインします。
- ステップ 2 メニュー バーで、[ポリシー (Policies)] > [仮想/ハイパーバイザポリシー (Virtual/Hypervisor Policies)] > [仮想データセンター (Virtual Data Centers)] を選択します。
- ステップ 3 [All User Groups] ペインで、編集する必要のある仮想データセンター グループを選択します。
- ステップ 4 [VDC] タブをクリックします。
- ステップ 5 メインの表示ペインで、編集する仮想データセンターを選択します。
- ステップ 6 [Edit] をクリックします。
- ステップ 7 [Edit VDC] ダイアログボックスで、次のフィールドを編集します。

名前	説明
[vDC Name] フィールド	仮想データセンターの名前。 名前は、入力した後では編集できません。

名前	説明
[vDC Locked] チェックボックス	今後の導入で仮想データセンターを使用できないようにするには、このチェックボックスをオンにします。仮想データセンター内の既存の仮想マシンに対するアクションは無効になります。今後の導入で仮想データセンターを使用できるようにするには、このチェックボックスをオフにします。
[VDC Description] フィールド	仮想データセンター固有の説明。
[Groups] ドロップダウン リスト	仮想データセンターの設定対象グループを選択します。
[Cloud Name] ドロップダウン リスト	仮想データセンターを設定するクラウドを選択します。 このドロップダウン リストで使用可能なオプションは、指定したアカウントタイプによって決まります。
承認者と連絡先	
[Approver User Name] フィールド	サービスリクエストを承認する必要があるユーザ。
[Provider Support Email Address] フィールド	連絡先の電子メールアドレス。この仮想データセンターを使用した仮想マシンのプロビジョニングを通知するユーザ。
ポリシー	
[System Policy] ドロップダウン リスト	仮想データセンターに適用されるシステムポリシーを選択します。
[Computing Policy] ドロップダウン リスト	仮想データセンターに適用されるコンピューティングポリシーを選択します。
[Network Policy] ドロップダウン リスト	仮想データセンターに適用されるネットワークポリシーを選択します。
[Storage Policy] ドロップダウン リスト	仮想データセンターに適用されるストレージポリシーを選択します。

名前	説明
[ISO Image Mapping Policy] ドロップダウン リスト	仮想データセンターに適用される ISO イメージ マッピング ポリシーを選択します。
[Cost Model] ドロップダウン リスト	仮想データセンターに適用されるコストモデルを選択します。
[Disable displaying cost in the SR summary and email page] チェックボックス	この仮想データセンターのサービスリクエストサマリーと電子メールページでのコストの表示を無効にするには、このチェックボックスをオンにします。
[User Action Policy] ドロップダウン リスト	仮想マシンのプロビジョニング後のオーケストレーションワークフローを実行するために使用するポリシーを選択します。選択されたワークフローは、仮想データセンター内の仮想マシンのアクション ボタンとして表示されます。
[Enable Storage Efficiency] チェックボックス	RCUを使用して仮想マシンを複製するには、このチェックボックスをオンにします。
[Delete after Inactive VM days] ドロップダウン リスト	非アクティブな仮想マシンを削除するまでの、非アクティブな状態の経過日数を選択します。非アクティブ状態の仮想マシンとは、電源がオンの状態ではない仮想マシンです。  (注) この選択項目が想定どおりに機能するためには、[Administration] > [System] で [Advanced Controls] タブの下にある [Delete Inactive VM's Based on VDC Policy] チェックボックスがオンになっていることを確認します。

名前	説明
<p>エンド ユーザ セルフサービス ポリシー</p>	<p>仮想データセンターのセルフサービスポリシーを選択します。このポリシーにより、仮想データセンターで実行できるタスクまたはアクションが定義されます。</p> <p>(注) このドロップダウンリストには、仮想データセンターの作成対象アカウントタイプに関連するポリシーが読み込まれます。</p> <p>vDCにポリシーを割り当てることは、ユーザがvDCで実行できるタスクを制御できる唯一の方法です。以前のバージョンでは、作成時にvDC上でタスクを有効または無効にしていました。現在のリリースにアップグレードしている場合は、以前設定された権限とオプションはvDCの名前でエンドユーザポリシーとして自動的にグループ化され、vDCに割り当てられます。</p>

**ステップ 8** [Save] をクリックします。

## 仮想データセンターの削除

### 手順

- ステップ 1 Cisco Intercloud Fabric にログインします。
- ステップ 2 メニュー バーで、[ポリシー (Policies)] > [仮想/ハイパーバイザポリシー (Virtual/Hypervisor Policies)] > [仮想データセンター (Virtual Data Centers)] を選択します。
- ステップ 3 [All User Groups] ペインで、削除する必要のある VDC グループを選択します。
- ステップ 4 [VDC] タブをクリックします。
- ステップ 5 メインの表示ペインで、削除する仮想データセンターを選択します。
- ステップ 6 [Remove] をクリックします。
- ステップ 7 [Delete VDC] ダイアログボックスで、[Delete] をクリックします。

## 仮想データセンターの複製

### 手順

- ステップ 1** Cisco Intercloud Fabricにログインします。
- ステップ 2** メニューバーで、[ポリシー (Policies)] > [仮想/ハイパーバイザポリシー (Virtual/Hypervisor Policies)] > [仮想データセンター (Virtual Data Centers)] を選択します。
- ステップ 3** [All User Groups] ペインで、複製する必要がある仮想データセンター グループを選択します。
- ステップ 4** [VDC] タブをクリックします。
- ステップ 5** メイン表示ペインで、複製する仮想データセンターを選択します。
- ステップ 6** [Clone] をクリックします。
- ステップ 7** [Clone vDC] ダイアログボックスで、次のフィールドに値を入力します。

名前	説明
[vDC Name] フィールド	仮想データセンターの名前。 名前は、入力した後では編集できません。
[vDC Locked] チェックボックス	今後の導入で仮想データセンターを使用できないようにするには、このチェックボックスをオンにします。仮想データセンター内の既存の仮想マシンに対するアクションは無効になります。今後の導入で仮想データセンターを使用できるようにするには、このチェックボックスをオフにします。
[VDC Description] フィールド	仮想データセンター固有の説明。
[Groups] ドロップダウン リスト	仮想データセンターの設定対象グループを選択します。
[Cloud Name] ドロップダウン リスト	仮想データセンターを設定するクラウドを選択します。  このドロップダウン リストで選択可能なオプションは、指定したアカウントタイプによって決まります。
承認者と連絡先	
[Approver User Name] フィールド	サービスリクエストを承認する必要があるユーザ。



名前	説明
[Provider Support Email Address] フィールド	連絡先またはユーザの電子メールアドレス。 この仮想データセンターを使用した仮想マシンのプロビジョニングを通知するユーザ。
ポリシー	
[System Policy] ドロップダウン リスト	仮想データセンターに適用されるシステムポリシーを選択します。
[Computing Policy] ドロップダウン リスト	仮想データセンターに適用されるコンピューティングポリシーを選択します。
[Network Policy] ドロップダウン リスト	仮想データセンターに適用されるネットワークポリシーを選択します。
[Storage Policy] ドロップダウン リスト	仮想データセンターに適用されるストレージポリシーを選択します。
[ISO Image Mapping Policy] ドロップダウン リスト	仮想データセンターに適用される ISO イメージマッピングポリシーを選択します。
[Cost Model] ドロップダウン リスト	仮想データセンターに適用されるコストモデルを選択します。
[Disable displaying cost in the SR summary and email page] チェックボックス	この仮想データセンターのサービスリクエストサマリーと電子メールページでのコストの表示を無効にするには、このチェックボックスをオンにします。
[User Action Policy] ドロップダウン リスト	仮想マシンのプロビジョニング後のオーケストレーションワークフローを実行するために使用するポリシーを選択します。選択されたワークフローは、仮想データセンター内の仮想マシンのアクション ボタンとして表示されます。
[Enable Storage Efficiency] チェックボックス	RCUを使用して仮想マシンを複製するには、このチェックボックスをオンにします。

名前	説明
[Delete after Inactive VM days] ドロップダウン リスト	<p>非アクティブな仮想マシンを削除するまでの、非アクティブな状態の経過日数を選択します。非アクティブ状態の仮想マシンとは、電源がオンの状態ではない仮想マシンです。</p> <p>(注) この選択項目が想定どおりに機能するためには、[Administration] &gt; [System] で [Advanced Controls] タブの下にある [Delete Inactive VM's Based on VDC Policy] チェックボックスがオンになっていることを確認します。</p>
[End User Self-Service Policies] ドロップダウン リスト。	<p>仮想データセンターのセルフサービスポリシーを選択します。このポリシーにより、仮想データセンターで実行できるタスクまたはアクションが定義されます。</p> <p>(注) このドロップダウンリストには、仮想データセンターの作成対象アカウントタイプに関連するポリシーが読み込まれます。</p> <p>vDCにポリシーを割り当てることは、ユーザがvDCで実行できるタスクを制御できる唯一の方法です。以前のバージョンでは、作成時にvDC上でタスクを有効または無効にしていた。現在のリリースにアップグレードしている場合は、以前設定された権限とオプションはvDCの名前でエンドユーザポリシーとして自動的にグループ化され、vDCに割り当てられません。</p>

**ステップ 8** [Add] をクリックします。

## 仮想データセンターのアプリケーションカテゴリの管理

アプリケーションカテゴリのポリシーを変更できます。カタログを作成するときに、次のいずれかのカテゴリをこのカタログのカテゴリとして選択できます。このカタログから仮想マシンを作成すると、カタログのアプリケーションカテゴリのポリシーにより、仮想データセンターのポリシーが上書きされます。



- (注) Cisco Intercloud Fabric で使用されるポリシーは、システムポリシー、コンピューティングポリシー、およびネットワークポリシーだけです。Cisco Intercloud Fabric ではその他のポリシーはすべて無視されます。

#### 手順

- ステップ 1 Cisco Intercloud Fabric にログインします。
- ステップ 2 メニューバーで、[ポリシー (Policies)] > [仮想/ハイパーバイザポリシー (Virtual/Hypervisor Policies)] > [仮想データセンター (Virtual Data Centers)] を選択します。
- ステップ 3 [All User Groups] ペインで、仮想データセンターを含む仮想データセンターグループを選択します。
- ステップ 4 [VDC] タブをクリックします。
- ステップ 5 メインの表示ペインで、アプリケーションカテゴリを管理する仮想データセンターを選択します。
- ステップ 6 [Manage Categories] をクリックします。
- ステップ 7 メインの表示ペインで、管理するアプリケーションカテゴリを選択します。
- ステップ 8 [Edit] をクリックします。
- ステップ 9 [Edit App Category] ダイアログボックスで、システムポリシー、コンピューティングポリシー、ネットワークポリシー、またはストレージポリシーを必要に応じて変更するために該当するフィールドをすべて編集します。コストモデルとスマート割り当てポリシーも変更できます。
- ステップ 10 [Save] をクリックします。

## プライベートクラウドへの仮想マシンの移行

仮想マシンをプライベートクラウドに移行するには、次の手順を使用します。



- (注) アプリケーションカテゴリポリシーは、仮想データセンターポリシーを上書きします。[アプリケーションカテゴリの管理](#)を参照してください。

## 手順

- ステップ 1 Intercloud Fabric にログインします。
- ステップ 2 [Intercloud] > [Compute] を選択します。
- ステップ 3 クラウドの仮想データセンターを選択します。
- ステップ 4 [VMs] タブをクリックします。
- ステップ 5 リストから仮想マシンを選択し、[Migrate VM on Premise] ボタンをクリックします。
- ステップ 6 [Migrate VM on Premise] ダイアログボックスで、次のフィールドに値を入力します。

名前	説明
[Target VM Name] フィールド	仮想マシンの名前。
[Select VDC] ドロップダウン リスト	仮想マシンの移行先として、プライベートクラウド内の仮想データセンターを選択します。
[Select OS Version] ドロップダウン リスト	OS のバージョンを選択します。
[Comments] フィールド	必要な場合は、コメントを入力します。
[Remove Source VM] チェックボックス	クラウドでソース仮想マシンを削除するには、このチェックボックスをオンにします。

- ステップ 7 [Proceed] をクリックします。

## Intercloud 仮想データセンターの管理

### Intercloud Fabric 仮想データセンターの作成

Intercloud Fabric 仮想データセンターを作成するには、次の手順を使用します。

#### はじめる前に

Intercloud Fabric のポリシーを作成しておきます。

## 手順

- ステップ 1** Intercloud Fabricにログインします。
- ステップ 2** [Intercloud] > [IcfCloud] を選択します。
- ステップ 3** [IcfCloud] ウィンドウで、[IcfCloud] タブをクリックします。
- ステップ 4** [IcfCloud] タブで、[Add vDC] ボタンをクリックします。  
[Add vDC] ウィザードが表示されます。
- ステップ 5** [Add vDC] ウィザードを表示するもう 1 つの方法として、[Policies] > [Virtual/Hypervisor Policies] > [Virtual Data Centers] > [Add vDC] に移動する方法があります。
- ステップ 6** [Add vDC] ウィンドウで、次のフィールドに値を入力します。

名前	説明
[Cloud Type] ドロップダウン リスト	プロバイダーのクラウドタイプを選択します。

- ステップ 7** [Submit] をクリックします。
- ステップ 8** [Add Intercloud vDC] ウィンドウで、次のフィールドに値を入力します。

名前	説明
一般情報	
[vDC Name] フィールド	仮想データセンターの名前。
[vDC Description] フィールド	仮想データセンターの説明。
[Groups] ドロップダウン リスト	既存のユーザ グループを選択するか、または [Add Group (+)] ボタンをクリックして、データセンターのユーザ グループを作成します。
[Provider Account] ドロップダウン リスト	仮想データセンターのプロバイダー アカウントを選択します。
[Cloud Name] ドロップダウン リスト	仮想データセンターの Intercloud Fabric Cloud を選択します。
承認者と連絡先	
[Approver Username] フィールド	承認者のユーザ名。 このフィールドは、[Advanced] チェックボックスをオンにした場合にだけ表示されます。
ポリシー	

名前	説明
[System Policy] ドロップダウン リスト	<p>既存のシステム ポリシーを選択するか、仮想データセンターのシステムポリシーの作成を選択します。</p> <p>システムポリシーの作成については、<a href="#">Intercloud Fabric システム ポリシーの作成, (34 ページ)</a>を参照してください。</p>
[Network Policy] ドロップダウン リスト	<p>既存のネットワーク ポリシーを選択するか、仮想データセンターのネットワークポリシーの作成を選択します。</p> <p>ネットワーク ポリシーの作成については、<a href="#">Intercloud Fabric ネットワーク ポリシーの作成, (30 ページ)</a>を参照してください。</p>
[Advanced] チェックボックス	<p>詳細構成設定を表示するには、このチェックボックスをオンにします。</p> <p>(注) このフィールドは、[VMware] 以外のクラウドタイプを選択した場合にだけ表示されます。</p>
[Allowed Active VMs for the vDC] チェックボックス	<p>仮想データセンターに対して許可するアクティブな仮想マシンの数を定義するには、このチェックボックスをオンにします。</p> <p>(注) このフィールドは、[VMware] 以外のクラウドタイプを選択し、かつ [Advanced] チェックボックスをオンにした場合にだけ表示されます。</p>
[Define the number of active VMs allowed for this vDC] フィールド	<p>仮想データセンターに対して許可するアクティブな仮想マシンの数。</p> <p>(注) このフィールドは、[Allowed Active VMs for the vDC] チェックボックスをオンにした場合にだけ表示されます。</p>
導入とサイズ変更のオプション	<p>詳細構成設定を表示するには、[Advanced] チェックボックスをオンにします。</p>

名前	説明
[Override Template] チェックボックス	<p>テンプレートの設定を上書きするには、このチェックボックスをオンにします。</p> <p>(注) このフィールドは、[VMware] 以外のクラウドタイプを選択し、かつ [Advanced] チェックボックスをオンにした場合にだけ表示されます。</p>
[Define the number of CPUs] フィールド	<p>テンプレートの CPU の数。</p> <p>このフィールドは、[Override Template] チェックボックスをオンにした場合にだけ表示されます。</p>
[Define the size of the Memory] フィールド	<p>テンプレートのメモリ サイズ。</p> <p>このフィールドは、[Override Template] チェックボックスをオンにした場合にだけ表示されます。</p>
[Allow Resizing of VM] チェックボックス	<p>仮想データセンターの仮想マシンのサイズ変更を許可するには、このチェックボックスをオンにします。</p> <p>(注) このフィールドは、[VMware] 以外のクラウドタイプを選択し、かつ [Advanced] チェックボックスをオンにした場合にだけ表示されます。</p>
[Define the number of CPUs] フィールド	<p>仮想マシンの CPU の数。</p> <p>このフィールドは、[Allow Resizing of VM] チェックボックスをオンにした場合にだけ表示されます。</p>
[Define the size of the Memory] フィールド	<p>仮想マシンのメモリ サイズ。</p> <p>このフィールドは、[Allow Resizing of VM] チェックボックスをオンにした場合にだけ表示されます。</p>

**ステップ 9** [Add] をクリックして、パブリック Intercloud Fabric 仮想データセンターを追加します。

**ステップ 10** タスクの状態を表示するには、[Intercloud] > [Compute] を選択します。

**ステップ 11** クラウドを選択し、[vDC] タブをクリックします。  
vDC レポートが表示されます。レポートの詳細については、『Cisco Intercloud Fabric User Guide』を参照してください。

## Intercloud Fabric Cloud への仮想マシンの移行

仮想マシンを Intercloud Fabric Cloud に移行するには、次の手順を使用します。



(注) アプリケーション カテゴリ ポリシーは、仮想データセンター ポリシーを上書きします。 [アプリケーション カテゴリの管理](#) を参照してください。

### はじめる前に

- Intercloud Fabric で仮想データセンターを作成しておきます。
- プライベート クラウドで仮想データセンターを作成しておきます。 管理ユーザの場合これは任意です。

### 手順

- ステップ 1 Intercloud Fabric にログインします。
- ステップ 2 [Intercloud] > [Compute] を選択します。
- ステップ 3 仮想データセンターを選択します。
- ステップ 4 [Migrate VM to Cloud VM] タブをクリックします。
- ステップ 5 リストから仮想マシンを選択し、[Migrate VM to Cloud] ボタンをクリックします。
- ステップ 6 ダイアログボックスで、次のフィールドに値を入力します。

名前	説明
[Target VM Name] フィールド	仮想マシンの名前。
[Select VDC] ドロップダウン リスト	仮想マシンの移行先として、プロバイダークラウド内の仮想データセンターを選択します。
[Select OS Version] ドロップダウン リスト	OS のバージョンを選択します。
[Comments] フィールド	必要な場合は、コメントを入力します。
[Remove Source VM] チェックボックス	プライベートクラウドの仮想データセンターでソース仮想マシンを削除するには、このチェックボックスをオンにします。

- ステップ 7 [Proceed] をクリックします。









## 第 5 章

# カタログの管理

---

- [この章の対象読者](#), 55 ページ
- [カタログ管理について](#), 55 ページ
- [テンプレートへのカタログの追加](#), 55 ページ
- [カタログの表示](#), 57 ページ
- [カタログの編集](#), 58 ページ
- [カタログの削除](#), 60 ページ
- [カタログの複製](#), 60 ページ

## この章の対象読者

項で特に指定がない限り、この章の内容は管理者向けです。

## カタログ管理について

事前定義されたカタログ項目を使用して仮想マシン（VM）のセルフプロビジョニングができます。カタログ項目はシステム管理者によって作成されます。これは、VM がバインドされたクラウド名やグループ名などのパラメータを定義します。

## テンプレートへのカタログの追加

テンプレートにカタログを追加するには、次の手順を使用します。

はじめる前に

- Intercloud Fabric にイメージをアップロードしておきます。

- アップロードしたイメージに基づいてテンプレートを作成しておきます。

手順

- ステップ 1** Intercloud Fabric にログインします。
- ステップ 2** [Policies] > [Catalogs] を選択します。
- ステップ 3** [Catalogs for all User Groups] ウィンドウで [Catalog] タブを選択します。
- ステップ 4** [Catalog] タブでテンプレートを選択し、[Add] ボタンをクリックします。
- ステップ 5** [Catalog Add] の次のフィールドに値を入力します。

名前	説明
[Catalog Type] ドロップダウン リスト	カタログ タイプを選択します (これは、Intercloud Fabric にします)。

- ステップ 6** [Submit] をクリックします。  
[Create Catalog] ウィザードが表示されます。

- ステップ 7** [Create Catalog] の次のフィールドに値を入力します。

名前	説明
<b>基本情報</b>	
[Catalog Name] フィールド	カタログの名前。
[Catalog Description] フィールド	カタログの説明。
[Catalog Icon] ドロップダウン リスト	カタログのアイコンを選択します。
[Applied to All Groups] チェックボックス	このカタログをすべてのユーザグループに対して表示するには、このチェックボックスをオンにします。
[Selected Groups] ボタン	このカタログのユーザグループを選択する場合にクリックします。
[Cloud Name] ドロップダウン リスト	[Intercloud Fabric Cloud] を選択します。
[Image] ドロップダウン リスト	Intercloud Fabric Cloud に関連付けられているテンプレートを選択します。

**ステップ 8** [Next] をクリックします。

**ステップ 9** [Application Details] ペインで、次のフィールドに値を入力します。

名前	説明
[Category] ドロップダウン リスト	仮想マシンのカテゴリを選択します。選択したカテゴリにポリシーが定義されている場合、このポリシーは、VDCで定義されているポリシーを上書きします。 <a href="#">アプリケーションカテゴリの管理</a> を参照してください。
[Specify OS] ドロップダウン リスト	仮想マシンのオペレーティングシステムを選択します。

**ステップ 10** [Next] をクリックします。

[Summary] ウィンドウに、カタログの要約がリストされます。

**ステップ 11** [Submit] をクリックしてカタログを作成します。

**ステップ 12** タスクの状態を表示するには、[Catalog] タブでタスクのサービス リクエスト番号を探します。

**ステップ 13** [Organizations] > [Service Requests] を選択します。

**ステップ 14** [Service Requests] タブを選択します。サービス リクエスト番号を探るか、または検索フィールドにサービス リクエスト番号を入力します。

**ステップ 15** [View] をクリックします。サービスリクエストのワークフローステータス、ログ、入力情報などの詳細情報が表示されます。

## カタログの表示

### 手順

**ステップ 1** Cisco Intercloud Fabricにログインします。

**ステップ 2** メニューバーで、[ポリシー (Policies)] > [カタログ (Catalogs)] の順に選択します。

**ステップ 3** [Catalog] タブをクリックします。

**ステップ 4** 表示するカタログの名前を選択します。

**ステップ 5** [View] をクリックします。

# カタログの編集

## 手順

- ステップ 1 Cisco Intercloud Fabricにログインします。
- ステップ 2 メニューバーで、[ポリシー (Policies)] > [カタログ (Catalogs)] の順に選択します。
- ステップ 3 [Catalog] タブをクリックします。
- ステップ 4 編集するカタログ名を選択します。
- ステップ 5 [Edit] をクリックします。
- ステップ 6 [Modify Catalog] ダイアログボックスで、次のフィールドに値を入力します。

名前	説明
[Basic Information] ペイン	
[Catalog Name] フィールド	カタログの名前。  (注) カatalogを作成した後では、名前は変更できません。
[Catalog Description] フィールド	カタログの説明。
[Catalog Icon] ドロップダウン リスト	このカタログに関連付けるイメージのアイコンをリストから選択します。このアイコンは、このカタログを使用してサービスリクエストを作成するときに表示されます。
[Applied to All Groups] チェックボックス	すべてのグループがこのカタログを使用できるようにするには、このチェックボックスをオンにします。他のグループが使用できないようにするには、このチェックボックスをオフにします。
[the selected groups] チェックボックス リスト	[Select Item] ダイアログボックスに含まれているグループのチェックボックスをオンにします。オンにしたグループは、新しい仮想マシンをプロビジョニングするときこのカタログを使用します。  (注) このオプションは、[Applied to all groups] チェックボックスをオフにすると表示されます。
[Cloud Name] ドロップダウン リスト	仮想マシンプロビジョニング用のイメージがあるクラウドを選択します。

名前	説明
[Image] ドロップダウン リスト	このカタログを使用して仮想マシンをプロビジョニングするときに使用するイメージのタイプ（イメージを構成する Windows ファイル、Linux ファイル、およびその他のファイルなどの既存のテンプレート）を選択します。
[Windows License Pool] フィールド	Windows ライセンスを選択します。  (注) このオプションは、Windows イメージが選択されて場合にのみ表示されます。  このオプションは、RHEV KVM コネクタではサポートされません。
[Provision all disks in single datastore] チェックボックス	単一データストアのすべてのディスクをプロビジョニングするには、このチェックボックスをオンにします。ストレージポリシーで各ディスクに対して設定されているデータストアを使用することも選択できます。  複数ディスク ストレージ ポリシーの作成の詳細については、 <a href="#">複数の仮想マシンディスクのストレージポリシー</a> を参照してください。  (注) このオプションは、選択されたテンプレートに複数のディスクがある場合にのみ表示されます。  このオプションは、RHEV KVM コネクタではサポートされません。
[Select Folder] ドロップダウン リスト	このカタログの作成先となるフォルダを選択します。  (注) ドロップダウン リストには、デフォルトで使用可能なフォルダの名前が含まれます。使用可能なフォルダを選択するか、または[+]アイコンをクリックして新しいフォルダを作成します。

**ステップ 7** [次へ (Next) ] をクリックします。

**ステップ 8** [Application Details] ペインで、次のフィールドを編集します。

名前	説明
[Category] ドロップダウン リスト	アプリケーション カテゴリを選択します。
[Specify OS] ドロップダウン リスト	仮想マシンのプロビジョニング時に、仮想マシンにインストールされるオペレーティングシステムのタイプを選択します。  (注) このオプションは、RHEV KVM コネクタではサポートされません。

- ステップ 9 [次へ (Next) ] をクリックします。
- ステップ 10 [Summary] ページでカタログ情報を確認します。
- ステップ 11 [送信 (Submit) ] をクリックします。

## カタログの削除

### 手順

- ステップ 1 Cisco Intercloud Fabric にログインします。
- ステップ 2 メニューバーで、[ポリシー (Policies) ] > [カタログ (Catalogs) ] の順に選択します。
- ステップ 3 [Catalog] タブをクリックします。
- ステップ 4 削除するカタログ名を選択します。
- ステップ 5 [削除 (Delete) ] をクリックします。

## カタログの複製

複製機能を使用してカタログ項目を複製できます。複製するカタログ項目を選択すると、[Name] と [Description] を除く既存のすべてのプロパティが新しいカタログにコピーされます。[Name] と [Description] を定義した後で、他のプロパティを変更できます。



手順

- ステップ 1 Cisco Intercloud Fabricにログインします。
- ステップ 2 メニューバーで、[ポリシー (Policies)] > [カタログ (Catalogs)] の順に選択します。
- ステップ 3 [Catalog] タブを選択します。
- ステップ 4 複製するカタログの名前を選択します。
- ステップ 5 [Clone] をクリックします。
- ステップ 6 [Clone Catalog] ダイアログボックスで、次のフィールドに値を入力します。

名前	説明
[Basic Information] ペイン	
[Catalog Name] フィールド	<p>カタログの名前。複製するカタログとは異なる名前にする必要があります。</p> <p>(注) カatalogを作成した後では、名前は変更できません。</p>
[Catalog Description] フィールド	<p>カタログの説明。</p>
[Catalog Icon] ドロップダウン リスト	<p>このカタログに関連付けるイメージのアイコンをリストから選択します。このアイコンは、このカタログを使用してサービスリクエストを作成するときに表示されます。</p>
[Applied to All Groups] チェックボックス	<p>すべてのグループがこのカタログを使用できるようにするには、このチェックボックスをオンにします。他のグループが使用できないようにするには、このチェックボックスをオフにします。</p>
[the selected groups] チェックボックス リスト	<p>[Select Item] ダイアログボックスに含まれているグループのチェックボックスをオンにします。オンにしたグループは、新しい仮想マシンをプロビジョニングするときにこのカタログを使用します。</p> <p>(注) このオプションは、[Applied to all groups] チェックボックスをオフにすると表示されます。</p>
[Cloud Name] ドロップダウン リスト	<p>仮想マシンプロビジョニング用のイメージがあるクラウドを選択します。</p>

名前	説明
[Image] ドロップダウン リスト	このカタログを使用して仮想マシンをプロビジョニングするときに使用するイメージのタイプ（イメージを構成する Windows ファイル、Linux ファイル、およびそのほかのファイルなどの既存のテンプレート）を選択します。
[Windows License Pool] フィールド	Windows ライセンスを選択します。  (注) このオプションは、Windows イメージが選択されて場合にのみ表示されます。  このオプションは、RHEL KVM コネクタではサポートされません。
[Provision all disks in single datastore] チェックボックス	単一データストアのすべてのディスクをプロビジョニングするには、このチェックボックスをオンにします。ストレージポリシーで各ディスクに対して設定されているデータストアを使用することも選択できます。  複数ディスク ストレージポリシーの作成の詳細については、 <a href="#">複数の仮想マシンディスクのストレージポリシー</a> を参照してください。  (注) このオプションは、選択されたテンプレートに複数のディスクがある場合にのみ表示されます。  このオプションは、RHEL KVM コネクタではサポートされません。
[Select Folder] ドロップダウン リスト	このカタログの作成先となるフォルダを選択します。  (注) ドロップダウン リストには、デフォルトで使用可能なフォルダの名前が含まれます。使用可能なフォルダを選択するか、または[+]アイコンをクリックして新しいフォルダを作成します。

**ステップ 7** [次へ (Next) ] をクリックします。

**ステップ 8** [Applications Details (アプリケーションの詳細) ] ペインで、次のフィールドを編集します。

名前	説明
[Category] ドロップダウン リスト	アプリケーション カテゴリを選択します。
[Specify OS] ドロップダウン リスト	仮想マシンのプロビジョニング時に、仮想マシンにインストールされるオペレーティングシステムのタイプを選択します。  (注) このオプションは、RHEL KVM コネクタではサポートされません。

- ステップ 9 [次へ (Next) ] をクリックします。
- ステップ 10 [Summary] ページでカタログ情報を確認します。
- ステップ 11 [送信 (Submit) ] をクリックします。





## 第 6 章

# サービス リクエストの管理

---

- [この章の対象読者, 65 ページ](#)
- [サービス リクエストについて, 65 ページ](#)
- [サービス リクエスト ワークフローと詳細, 69 ページ](#)
- [その他のサービス リクエスト機能, 72 ページ](#)
- [サービス リクエストの承認プロセス, 73 ページ](#)

## この章の対象読者

項で特に指定がない限り、この章の内容は管理者およびエンド ユーザ向けです。

## サービス リクエストについて

セルフサービス プロビジョニング機能を使用してサービス リクエストを作成し、仮想マシン (VM)、サービス、またはアプリケーションをプロビジョニングできます。サービス リクエストプロセスではVM作成用のプロビジョニングワークフローを作成しますが、これには次のアクションが含まれます。

- 動的なリソース割り当て
- 承認
- プロビジョニング
- ライフサイクルの設定および通知

VMをプロビジョニングするまたはオーケストレーション ワークフローを実行するには、最初にサービス リクエストを作成する必要があります。管理者または該当のユーザがサービス リクエストを承認すると、VMがプロビジョニングされます。VMはただちに承認することも、オリジナルのリクエストから 90 日以内に承認するようにスケジュールすることもできます。



(注) サービス リクエスト承認プロセスはオプションです。

管理者はオーケストレーションワークフローをカタログとしてセルフサービスポータルに提供できます。サービス リクエストの承認プロセスは1人または2人のユーザによる承認が必要です。このようなシナリオでは、VM をプロビジョニングするには管理者および IT 管理者がリクエストを承認する必要があります。

## サービス要求の作成

サービスリクエストを作成するには、次の手順を使用します。仮想マシンをプロビジョニングするには、まずサービスリクエストを作成する必要があります。管理者または該当のユーザがサービスリクエストを承認すると、仮想マシンがプロビジョニングされます。仮想マシンはただちに承認することも、オリジナルのリクエストから90日以内に承認するようにスケジュールすることもできます。

### はじめる前に

- Intercloud Fabric にイメージをアップロードしておきます。
- Intercloud Fabric Cloudで、アップロードしたイメージに基づいてテンプレートを作成しておきます。
- テンプレートにカタログを追加しておきます。

### 手順

- ステップ 1 Intercloud Fabric にログインします。
- ステップ 2 [Organizations] > [Service Requests] を選択します。
- ステップ 3 [Service Request] タブをクリックします。
- ステップ 4 [Create Request] をクリックします。
- ステップ 5 [Create Request] ダイアログボックスで、次のフィールドに値を入力します。

名前	説明
[Catalog Type] ドロップダウン リスト	カタログ タイプを選択します (これは、Intercloud Fabric にします)。

- ステップ 6 [Submit] をクリックします。  
[Create Service Request] ウィザードが表示されます。
- ステップ 7 [Create Service Request] ウィザードの [Catalog Selection] で、次のフィールドに値を入力します。

名前	説明
[Select Group] ドロップダウン リスト	サービス リクエストのユーザ グループを選択します。
[Catalog Selection] ドロップダウン リスト	サービスリクエストのカタログを選択します。

**ステップ 8** [Next] をクリックします。

**ステップ 9** [Deployment Configuration] の次のフィールドに値を入力します。

名前	説明
[Select VDC] ドロップダウン リスト	仮想マシンがプロビジョニングされる VDC。
[Description] フィールド	VDC の説明。

**ステップ 10** [Custom Specification] の次のフィールドに値を入力します。

名前	説明
[VM Networks] ペイン	vNIC を選択するか、または必要に応じて鉛筆アイコンをクリックして編集します。

**ステップ 11** [Edit VM Networks Entry] の次のフィールドに情報を入力します。

名前	説明
[NIC Alias field] フィールド	仮想マシン ネットワークの NIC エイリアス。
[Required] チェックボックス	このチェックボックスをオンにすると、NIC が編集不可になります。
[Port Groups] ペイン	ポートグループにエントリを追加するには、プラスアイコンをクリックします。

**ステップ 12** [Next] をクリックします。

[Summary] ウィンドウに、サービス リクエストの要約がリストされます。

- ステップ 13** [Submit] をクリックしてサービス リクエストを作成します。
- ステップ 14** タスクの状態を表示するには、[Catalog] タブでタスクのサービス リクエスト番号を探します。
- ステップ 15** [Organizations] > [Service Requests] を選択します。
- ステップ 16** [Service Request] タブをクリックします。サービス リクエスト番号を探るか、または検索フィールドにサービス リクエスト番号を入力します。
- ステップ 17** [View] をクリックします。サービス リクエストのワークフローステータス、ログ、入力情報などの詳細情報が表示されます。

## サービス リクエストを使用した仮想マシンのプロビジョニング

Self-Service Portalを使用して、エンドユーザ専用の仮想マシンをプロビジョニングできます。[Assign to user] チェックボックスをオンにした場合、仮想マシンをプロビジョニングするエンドユーザに所有権が割り当てられます。プロビジョニングの完了後、仮想マシンはそのエンドユーザに割り当てられます。[Assign to user] チェックボックスをオフにした場合、仮想マシンは (IT) グループに対してプロビジョニングされます。当該グループ内のユーザは、その仮想マシンを確認できます。

### 手順

- ステップ 1** Cisco Intercloud Fabricにログインします。
- ステップ 2** [Services] タブをクリックします。
- ステップ 3** [Create Request] をクリックします。
- ステップ 4** [Create Request] ダイアログボックスで、次のフィールドに値を入力します。

名前	説明
[Catalog Type] ドロップダウン リスト	カタログのタイプ。[Intercloud Fabric] だけを選択できます。これは、Cisco Intercloud Fabric をカタログアイテムとして公開するために使用されます。

- ステップ 5** [Submit] をクリックします。
- ステップ 6** [Catalog Selection] ウィンドウで、次のフィールドに値を入力します。

名前	説明
[Catalog Selection] ドロップダウン リスト	プロビジョニングする仮想マシンを選択します。カタログとは、カタログ形式の仮想マシンです。



**ステップ 7** [Next] をクリックします。

**ステップ 8** [Deployment Configuration] 画面で、次のフィールドに値を入力します。

名前	説明
[Select VDC] ドロップダウン リスト	仮想マシンをプロビジョニングする仮想データセンターを選択します。
[Description] フィールド	導入構成の説明。

**ステップ 9** [Next] をクリックします。

**ステップ 10** [Custom Specification] 画面で NIC を選択します。

選択した NIC を編集するには鉛筆のボタンをクリックし、削除するには [X] ボタンをクリックします。フィルタ フィールドに値を入力して、NIC のリストをフィルタリングできます。

必要に応じて、CPU コアとメモリ容量を変更できます。

**ステップ 11** [Next] をクリックします。

**ステップ 12** [Summary] ページでサービス リクエストを確認します。

**ステップ 13** [Submit] をクリックします。`

## サービス リクエスト ワークフローと詳細

サービス リクエストを作成した後で、ステータスとワークフローの確認、リクエストのキャンセル、リクエストの再送信などを行うことができます。これらの操作は、サービス リクエスト リストの上部のツールバー ボタンを使って制御できます。

### サービス リクエスト ワークフロー

[Workflow Status] ボックスにはサービス リクエストおよびワークフロー ステップの詳細が表示されます。サービス リクエストの一般的なワークフローには次のステップが含まれます。

- 1 開始 : ユーザによるサービス リクエストの開始。
- 2 リソース割り当て : VM に必要なリソースの割り当て。
- 3 承認 : VM がプロビジョニングされる前のユーザ承認プロセス。カタログの作成時に定義された承認者に電子メールが送信されます。このカタログは、必要に応じて VM のプロビジョニング時に使用されるカタログです。
- 4 プロビジョニング : VM のプロビジョニング プロセス。

## サービス リクエスト詳細

サービスリクエストの詳細には、サービスリクエストの概要、所有権、カタログ情報、および現在のステータスの項目が含まれます。

項目	説明
<b>概要</b>	
要求 ID	サービス リクエスト ID 番号。
要求タイプ	リクエストのタイプ。
ワークフロー名	ワークフローの名前。
ワークフローのバージョン ラベル	ワークフローのバージョン ラベル。
リクエスト日時	サービス リクエストの作成時点。
リクエストのステータス	サービスリクエストのステータス ([Complete]、[Cancel]、[Failed] など)。
コメント	任意のコメント。
<b>所有権</b>	
グループ	サービスリクエストを開始したユーザが属するグループ。
送信ユーザ	サービス リクエストを開始したユーザ。

各ワークフロー ステップのステータスを確認できます。警告メッセージやエラー メッセージ、リクエストの時刻などの詳細も表示されます。ワークフローステップは、それぞれのステータスを示すため色分けされています。

カラー コード	説明
グレー	ステップは未完了です。
グリーン	ステップは正常に完了しました。
赤	ステップは失敗しました。失敗の理由も示されます。

カラー コード	説明
青	ステップの完了に追加入力が必要、または、ステップが進行中です。たとえば、サービス リクエストに対して承認者が定義されている場合、リクエストが承認されるまではこのステップは完了しません。



(注) 承認者は各自に割り当てられているサービス リクエストを [Accept] タブで確認できます。

## サービス リクエストのワークフロー ステータスの表示

### 手順

- ステップ 1 Cisco Intercloud Fabricにログインします。
- ステップ 2 メニュー バーで、[組織 (Organizations)] > [サービスリクエスト (Service Requests)] の順に選択します。
- ステップ 3 左側のパネルから、ユーザ グループを選択します。  
デフォルトは [All User Groups] で、すべてのサービス リクエストが表示されます。
- ステップ 4 [Service Requests] タブをクリックします。
- ステップ 5 サービス リクエストを選択します。
- ステップ 6 [Show Details] をクリックして、サービス リクエストの詳細とステータスを確認します。デフォルトでは、[Workflow Status] タブがダイアログボックスに表示されます。

## サービス リクエストのログ詳細の表示

この項の内容は管理者向けです。

### 手順

- ステップ 1 Cisco Intercloud Fabricにログインします。
- ステップ 2 メニュー バーで、[組織 (Organizations)] > [サービスリクエスト (Service Requests)] の順に選択します。
- ステップ 3 左側のパネルから、ユーザ グループを選択します。

デフォルトは [All User Groups] で、すべてのサービス リクエストが表示されます。

- ステップ 4 [Service Requests] タブをクリックします。
  - ステップ 5 サービス リクエストを選択します。
  - ステップ 6 [Show Details] をクリックします。
  - ステップ 7 [Log] タブをクリックします。
- 

## その他のサービス リクエスト機能

### サービス リクエストのキャンセル

#### 手順

---

- ステップ 1 Cisco Intercloud Fabricにログインします。
  - ステップ 2 メニュー バーで、[組織 (Organizations)] > [サービスリクエスト (Service Requests)] の順に選択します。
  - ステップ 3 左側のパネルから、ユーザ グループを選択します。  
デフォルトは [All User Groups] で、すべてのサービス リクエストが表示されます。
  - ステップ 4 [Service Requests] タブをクリックします。
  - ステップ 5 キャンセルするサービス リクエストのエントリを選択します。
  - ステップ 6 [Cancel Request] をクリックします。
  - ステップ 7 [Submit] をクリックして、サービス リクエストをキャンセルします。
- 

### 特定グループのサービス リクエストの表示

この項の内容は管理者向けです。

#### 手順

---

- ステップ 1 Cisco Intercloud Fabricにログインします。
- ステップ 2 メニュー バーで、[組織 (Organizations)] > [サービスリクエスト (Service Requests)] の順に選択します。
- ステップ 3 左側のパネルから、ユーザ グループを選択します。  
デフォルトは [All User Groups] で、すべてのサービス リクエストが表示されます。

- ステップ 4** [Service Requests] タブをクリックします。  
選択したグループのサービス リクエストのリストがテーブルに表示されます。
- ステップ 5** (任意) 詳細については、サービス リクエストを選択して [View Details] をクリックします。  
表示されるウィンドウに、選択したサービス リクエストの詳細情報が示されます。タブを選択してさまざまな情報を確認できます。

## グループのサービス リクエスト履歴のエクスポート

この項の内容は管理者向けです。

### 手順

- ステップ 1** Cisco Intercloud Fabricにログインします。
- ステップ 2** メニューバーで、[組織 (Organizations)] > [サービスリクエスト (Service Requests)] の順に選択します。
- ステップ 3** 左側のパネルからグループ名を選択します。
- ステップ 4** [Service Requests] タブをクリックします。
- ステップ 5** ツールバーの右側で、[Export Report] アイコンをクリックします。
- ステップ 6** [Export Report] ダイアログボックスで、レポート形式を選択します。  
レポートの形式は、PDF、CSV、XLS です。
- ステップ 7** [Generate Report] をクリックします。

## サービス リクエストの承認プロセス

仮想マシンをプロビジョニングする前に、VDC内で定義された指定の承認者によりサービス リクエストが承認される必要があります。1つのグループに対して2人の承認者を定義できます。

- 作成されたサービス リクエスト ワークフローには、承認者の名前を示す仮想マシン承認を必要とするステップがあります。
- サービス リクエスト通知電子メールが承認者に送信されます。承認者は [Approvals] タブですべてのリクエストを確認できます。
- 承認されると、仮想マシンのプロビジョニングが開始されます。



(注) 承認者の定義の詳細については、[仮想データセンターの管理](#)、(37 ページ) を参照してください。

## サービス リクエストの承認

### 手順

- ステップ 1 メニュー バーで、[組織 (Organizations)] > [承認記録 (My Approvals)] の順に選択します。
- ステップ 2 [My Approvals] タブを選択します。
- ステップ 3 承認するサービス リクエストのエントリを選択します。
- ステップ 4 (任意) 詳細を確認するため、[Show Details] をクリックします。ワークフローと入力/出力情報を確認できます。確認し終わったら、[Close] をクリックします。
- ステップ 5 [承認] をクリックします。
- ステップ 6 必要に応じて、[Service Requests] ダイアログボックスでコメントを追加します。
- ステップ 7 [承認] をクリックします。

## サービス リクエストの拒否

### 手順

- ステップ 1 Cisco Intercloud Fabric にログインします。
- ステップ 2 メニュー バーで、[Organization] > [My Approvals] の順に選択します。
- ステップ 3 拒否するサービス リクエスト エントリを選択します。
- ステップ 4 [Show Details] をクリックして、詳細を確認します。
- ステップ 5 [Reject] をクリックします。
- ステップ 6 (任意) [Service Request] ダイアログボックスでコメントを追加します。
- ステップ 7 [Reject] をクリックします。

## サービス リクエスト承認の履歴の表示

### 手順

- 
- ステップ 1 Cisco Intercloud Fabricにログインします。
  - ステップ 2 メニュー バーで、[Organization] > [My Approvals] の順に選択します。
  - ステップ 3 [My Approvals] タブを選択します。  
承認済みのすべての承認と承認保留中の承認が表示されます。
- 

## サービス リクエストの承認履歴の検索

### 手順

- 
- ステップ 1 Cisco Intercloud Fabricにログインします。
  - ステップ 2 メニュー バーで、[組織 (Organizations)] > [承認記録 (My Approvals)] の順に選択します。
  - ステップ 3 [My Approvals] タブを選択します。  
承認済みのすべての承認と承認保留中の承認が表示されます。
  - ステップ 4 [Search] フィールドに、検索語を入力します。  
検索条件に一致するサービス リクエストが表示されます。
- 

## サービス リクエスト承認の履歴のエクスポート

### 手順

- 
- ステップ 1 Cisco Intercloud Fabricにログインします。
  - ステップ 2 メニュー バーで、[組織 (Organizations)] > [承認記録 (My Approvals)] の順に選択します。
  - ステップ 3 [My Approvals] タブを選択します。
  - ステップ 4 リストからグループ名を選択します。
  - ステップ 5 ツールバーの右側で、[Export Report] アイコンをクリックします。
  - ステップ 6 [Export Report] ダイアログボックスで、レポート形式を選択します。  
レポートの形式は、PDF、CSV、XLS です。

**ステップ 7** [Generate Report] をクリックします。

---





## 第 7 章

# システムのモニタリングとレポート作成

---

- [この章の対象読者](#), 77 ページ
- [ダッシュボード](#), 77 ページ
- [レポート](#), 78 ページ

## この章の対象読者

項で特に指定がない限り、この章の内容は管理者およびエンドユーザー向けです。

## ダッシュボード

ダッシュボードは、ログインしたときに表示される最初のウィンドウです。アプリケーションのすべてのレポート ウィジェットをダッシュボードに追加できます。ダッシュボード（トップレベルのメニュー）で、重要なまたはお気に入りのレポート ウィジェットの追加を有効にできます。

## ダッシュボードの有効化

はじめる前に

このタスクを完了するには、アプライアンスにログインする必要があります。

### 手順

---

- ステップ 1 Cisco Intercloud Fabricにログインします。
  - ステップ 2 ウィンドウの右上で、[System Admin] をクリックします。
  - ステップ 3 [Dashboard] タブをクリックします。
  - ステップ 4 [Enable Dashboard] チェックボックスをオンにします。
  - ステップ 5 [適用 (Apply) ] をクリックします。
- 

## レポートウィジェットの追加

### はじめる前に

このタスクを完了するには、アプライアンスにログインする必要があります。

### 手順

---

- ステップ 1 Cisco Intercloud Fabricにログインします。
  - ステップ 2 メニューバーで、[Intercloud] > [Compute] を選択します。
  - ステップ 3 左側のパネルから、クラウドの名前を選択します。
  - ステップ 4 表示するレポートタイプのタブをクリックします。
  - ステップ 5 レポートウィジェットの右上で下矢印をクリックします。
  - ステップ 6 [Add to Dashboard] を選択します。
- 

## ウィジェットデータの更新

ウィジェットデータは自動または手動で更新できます。自動更新の場合、自動更新の間隔を5分から最大60分までの間でカスタマイズできます。

時間を設定するには、ダッシュボードの [Automatic Refresh] ボタンを [On] に設定する必要があります。

## レポート

Cisco Intercloud Fabric では、多岐にわたるレポートが表示され、仮想インフラストラクチャとシステムリソースをモニタできます。これらのレポートは、システムの詳細を理解するのに役立ち、システムの実行状況に関する情報を提供します。

以下にレポートのタイプを示します。

- システム情報の表形式のレポート。概要、ホストノード、新規仮想マシン、削除された仮想マシンなどが表示されます。
- 棒グラフおよび円グラフによる比較。アクティブな仮想マシンと非アクティブな仮想マシン、プロビジョニングされた CPU とキャパシティなどの比較が表示されます。
- システムリソースに関するトレンドグラフ。CPU のトレンド、メモリのトレンド、仮想マシンの追加および削除などが含まれます。
- その他のレポートには、グループ、VDC、ホストノード、および仮想マシンレベルの上位 5 つを示すレポートがあります。上位 5 つを示すレポートは、仮想マシンの数が最も多いグループ、CPU 使用率が最大のグループ、仮想マシンの数が最も多い VDC、CPU 使用率が最大のホストノードなどです。
- マップレポートは、ヒートマップまたは色分けされたマップの形式でシステムリソース情報を表示します。

## レポートへのアクセス

### はじめる前に

このタスクを完了するには、アプライアンスにログインする必要があります。

### 手順

- 
- ステップ 1 Cisco Intercloud Fabric にログインします。
  - ステップ 2 メニューバーで、[Intercloud] > [Compute] を選択します。
  - ステップ 3 左側のパネルから、クラウドの名前を選択します。
  - ステップ 4 アクセスするレポートタイプのタブを選択します。
- 

## エンドユーザレポートの表示

エンドユーザレポートを使用して多岐にわたるレポートにアクセスし、仮想マシンのライフサイクルアクションの管理に役立てることができます。サマリーページには、選択された仮想マシンとそのアクションに関する詳細情報が表示されます。

レポートセクション	説明
[Overview]	
[VM ID]	仮想マシンの ID 番号。

レポート セクション	説明
[Cloud Name]	仮想マシンがプロビジョニングされるクラウド（基本的に1つのvCenterインストール）。
[Instance Name]	仮想マシン インスタンスの名前。
[Status]	仮想マシンの状態。
[IP Address]	仮想マシンの IP アドレス。
[hostname]	仮想マシンが存在するホストの名前。
[Boot Time]	仮想マシンのブート時刻。
<b>[Ownership]</b>	
[Groups]	仮想マシンが属するグループ。
[Label]	仮想マシンに対して定義されている可能性のある任意のラベル。
[Provisioned Time]	仮想マシンのプロビジョニング時刻。
[Scheduled Termination Time]	仮想マシンの予定終了時刻。この時刻は、終了時刻が仮想マシンに定義されている場合に表示されます。
<b>[Resource]</b>	
[Number of Virtual CPUs]	仮想マシンに割り当てられた仮想 CPU の数。
[Memory(MB)]	仮想マシンに割り当てられたメモリ。
<b>[Storage]</b>	
[Total Provisioned (GB)]	仮想マシンに割り当てられたストレージ。
<b>[Network]</b>	
[No. of vNICs]	仮想ネットワーク インターフェイス カードの数。
[vNIC MAC Address]	仮想ネットワーク インターフェイス カードの Mac アドレス。
<b>[Guest Information]</b>	

レポート セクション	説明
[Guest OS]	仮想マシン上で実行されているゲスト OS。

## 仮想リソースの詳細の表示

すべてのグループまたは特定のグループのサービス リクエストのレポートを表形式でエクスポートできます。

### 手順

- 
- ステップ 1** Cisco Intercloud Fabricにログインします。
- ステップ 2** [Virtual Resources] をクリックします。  
デフォルトでは、[Summary] タブが選択されます。この場合、さまざまな仮想リソース情報を示す複数のウィジェットが表示されます。
- ステップ 3** タブの 1 つをクリックすると、選択されている仮想リソース タイプの追加の詳細情報が表形式で表示されます。
- 

## 仮想データセンターの詳細情報の表示

サービスリクエストを使用してプロビジョニングされた仮想マシンを仮想データセンター (vDC) と関連付けることができます。サービスリクエストの作成時に、仮想マシンをプロビジョニングする仮想データセンターを選択できます。仮想マシンのプロビジョニング時には、グループに利用可能な仮想データセンターのリストを表示し、必要な仮想データセンターを選択できます。仮想データセンターの名前、仮想マシンの数 (アクティブおよび合計) などの詳細情報が表示されます。

### 手順

メニューバーで、[Virtual Resources] をクリックして、[vDC] タブを選択します。仮想データセンターの詳細情報が表示されます。

名前	説明
[License Status] タブ	[License Status] 画面に現在のライセンス情報が表示されます。

名前	説明
[Summary] タブ	[Summary] 画面には、CPU、メモリ、ディスクの使用量を記載した概要およびトレンドグラフなど、仮想データセンターの詳細情報が表示されます。
[vDC] タブ	仮想データセンターページには、現在アクティブな仮想データセンターのリストが表示されます。
[Tiered Applications] タブ	[Tiered Applications] 画面には、現在使用できる階層化アプリケーションがすべてリスト表示されます。
[VM] タブ	仮想マシン画面には、選択した仮想データセンターに属するすべての仮想マシンが表示されます。
[VM Action Requests] タブ	[VM Action Requests] 画面には、使用可能なすべてのアクションIDと関連情報が表示されます。
[Port Group] タブ	[Port Group] 画面には使用可能なポートグループとホストノード、vSwitch名、ポートグループ名、ポートグループタイプ、およびVLAN IDなどの、関連情報が表示されます。
[DV Port Groups] タブ	[DV Port Groups] 画面には使用可能なポートグループとホストノード、vSwitch名、ポートグループ名、ポートグループタイプ、VLAN ID、およびプロミスキャスモードなどの、関連情報が表示されます。
[Resource Pool] タブ	[Resource Pool] 画面には使用可能なクラウドおよび関連する設定情報がリスト表示されます。
[Desktop] タブ	[Desktop] 画面には、関連するインスタンスとカタログ名および割り当てステータスが一覧表示されます。
[More Reports] タブ	[More Reports] 画面には、さまざまな傾向が異なる（時間）期間ごとに一覧表示されます。

## 管理者レポート

この項の内容は管理者向けです。

次の表で、管理者が表示できるレポートについて説明します。

表 1: 管理者レポート

レポートタイプ	説明
Intercloud	
インフラストラクチャ	インフラストラクチャ情報をモニタできます。
IcfCloud	Cisco Intercloud Fabric クラウド情報をモニタできます。
コンピューティング	システムリソースの使用状況をモニタできます。
ネットワーク	ネットワークトラフィックをモニタできます。
Organizations	
Service Requests	サービスリクエストをモニタできます。
My Approvals	承認をモニタできます。
ポリシー	
カタログ	カタログをモニタできます。
Virtual/Hypervisor Policies	仮想およびハイパーバイザポリシーをモニタできます。
Intercloud Infrastructure Policies	Cisco Intercloud Fabric インフラストラクチャポリシーをモニタできます。
オーケストレーション	オーケストレーションをモニタできます。
管理機能	

レポートタイプ	説明
ライセンス	ライセンスをモニタできます。
システム	システム情報をモニタできます。
ユーザとグループ	ユーザとグループをモニタできます。
仮想アカウント	仮想アカウントをモニタできます。
Managed Elements	管理対象要素をモニタできます。
User Interface Settings	ユーザ インターフェイスの設定をモニタできます。
サポート情報	サポート情報をモニタできます。

## エンドユーザ レポート

この項の内容はエンドユーザ向けです。

次の表で、エンドユーザが表示できるレポートについて説明します。

表 2: エンドユーザレポート

レポートタイプ	説明
カタログ	カタログをモニタできます。
サービス	サービス リクエストをモニタできます。
承認	承認をモニタできます。



レポートタイプ	説明
仮想リソース	<p>仮想リソースをモニタできます。仮想リソースには次のリソースが含まれます。</p> <ul style="list-style-type: none"><li>• vNIC</li><li>• VM 統計情報</li><li>• 仮想データセンター</li><li>• 仮想マシン</li><li>• リソース プール</li></ul>





## 第 8 章

# ライフサイクルの管理

---

- [この章の対象読者, 87 ページ](#)
- [仮想マシンの電源設定の管理, 87 ページ](#)

## この章の対象読者

項で特に指定がない限り、この章の内容は管理者向けです。

## 仮想マシンの電源設定の管理

はじめる前に

このタスクを完了するには、アプライアンスにログインする必要があります。

手順

- 
- ステップ 1 Cisco Intercloud Fabricにログインします。
  - ステップ 2 メニューバーで、[Intercloud] > [Compute] を選択します。
  - ステップ 3 クラウドの名前を選択します。
  - ステップ 4 [VM] タブをクリックします。
  - ステップ 5 [VM] ペインで仮想マシンを選択します。
  - ステップ 6 仮想マシンで実行するタスクのボタンをクリックします。
  - ステップ 7 [VM Task] ダイアログボックスで、各フィールドに値を入力します。
  - ステップ 8 [Proceed] をクリックします。
-





## 第 9 章

### その他の情報

---

- [Cisco Intercloud Fabric の関連資料](#), 89 ページ
- [マニュアルの入手方法およびテクニカル サポート](#), 90 ページ
- [マニュアルに関するフィードバック](#), 91 ページ

### Cisco Intercloud Fabric の関連資料

ここでは、Cisco Intercloud Fabric に付属のマニュアルと次の URL から入手可能なマニュアルを列挙します。

<http://www.cisco.com/c/en/us/support/cloud-systems-management/intercloud-fabric/tsd-products-support-series-home.html>

#### 一般情報

『*Cisco Intercloud Fabric Release Notes*』

#### インストール & アップグレード

『*Cisco Intercloud Fabric Getting Started Guide*』

#### ユーザ ガイド

『*Cisco Intercloud Fabric User Guide*』

#### コンフィギュレーション ガイド

『*Cisco Intercloud Fabric Configuration Guide*』

『*Cisco Intercloud Fabric Firewall Configuration Guide*』

『*Cisco vPath and vServices Reference Guide for Intercloud Fabric*』

## プログラミング

『Cisco Intercloud Fabric Director REST API Guide』

## トラブルシューティング & アラート

『Cisco Intercloud Fabric Troubleshooting Guide』

## Cisco Intercloud Fabric Provider Platform

Cisco Intercloud Fabric Provider Platform で使用する次のマニュアルは、以下の URL から入手可能です。

<http://www.cisco.com/c/en/us/support/cloud-systems-management/intercloud-fabric/tsd-products-support-series-home.html>

『Cisco Intercloud Fabric Provider Platform Release Notes』

『Cisco Intercloud Fabric Provider Platform Installation Guide』

『Cisco Intercloud Fabric Provider Platform Administrator Guide』

『Cisco Intercloud Fabric Provider Platform Troubleshooting Guide』

## Cisco Nexus 1000V のマニュアル

[Cisco Nexus 1000V for VMware vSphere](#)

[Cisco Nexus 1000V for KVM](#)

[Cisco Nexus 1000V for Microsoft Hyper-V](#)

## Cisco Virtual Security Gateway に関するマニュアル

[Cisco Virtual Security Gateway](#)

『Cisco Prime Network Services Controller Documentation』

[Cisco Prime Network Services Controller](#)

## Cisco Cloud Services Router のマニュアル

[Cisco Cloud Services Router 1000V](#)

# マニュアルの入手方法およびテクニカル サポート

マニュアルの入手、Cisco Bug Search Tool (BST) の使用、サービス要求の送信、追加情報の収集については、『What's New in Cisco Product Documentation』を参照してください。このドキュメントは、<http://www.cisco.com/c/en/us/td/docs/general/whatsnew/whatsnew.html> から入手できます。

『What's New in Cisco Product Documentation』では、シスコの新規および改訂版の技術マニュアルの一覧を、RSS フィードとして購読できます。また、リーダーアプリケーションを使用して、コンテンツをデスクトップに配信することもできます。RSS フィードは無料のサービスです。

## マニュアルに関するフィードバック

このマニュアルに関する技術的なフィードバック、または誤りや記載もれなどお気づきの点がございましたら、HTML ドキュメント内のフィードバックフォームよりご連絡ください。  
ご協力をよろしくお願いいたします。

